

平成31年

福島県感染症発生動向調査事業報告書

(平成31年1月～4月・令和元年5月～12月)

令和 2年 3月

福島県感染症情報センター
(福島県衛生研究所)
福島県感染症情報解析委員会

はじめに

感染症発生動向調査は、平成 11 年 4 月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に基づき、「福島県感染症発生動向調査事業実施要綱」により実施しています。

当研究所では、平成 13 年 7 月に福島県感染症情報センターを設置し、県内の患者及び病原体情報を一元的に収集・解析し、週報・月報等を通して、随時、県民や医療関係機関に情報提供を行っています。

国内では、平成 30 年の第 30 週頃より関東地方を中心に風しんの患者報告数が急増し、平成 31 年も引き続き流行が続きました。

当県では、つつが虫病と同じダニ媒介感染症である日本紅斑熱の当県を推定感染地域とする初めての患者の報告がありました。

また、令和元年 10 月に発生した東日本台風による大規模災害発生後には、レプトスピラ症の患者の報告がありました。本症は四類感染症に指定されて以来、本県では 2 例目となりました。

こうした感染症発生、拡大防止、早期診断のため、今後もより一層、感染症サーベイランスの強化、公衆衛生情報の解析・発信に努めていく所存です。

結びに、本報告書の発行に当たり、定点医療機関をはじめ関係各位の御尽力に対し厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本事業への一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月

福島県衛生研究所長 室井 哲

目 次

【平成 31 年】

I	福島県感染症発生動向調査事業実施概要	
	(1) 福島県感染症発生動向調査事業実施概要	2
	(2) 福島県感染症情報センターの概念図	4
	(3) 平成 31 年報告週対応表	5
II	福島県感染症発生動向調査事業一～五類，新型インフルエンザ等感染症，指定感染症全数把握及び五類感染症定点把握，法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の報告	
	(1) 一～五類，新型インフルエンザ等感染症，指定感染症 全数把握対象結果報告	7
	(2) 一～五類，新型インフルエンザ等感染症，指定感染症 全数把握報告調査結果（福島県・全国）	15
	(3) 五類感染症定点把握対象結果報告	17
	(4) 法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告	44
III	検査情報	
	(1) 2019 年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）	48
	(2) 2019 年感染症発生動向調査事業報告（細菌）	54

I 福島県感染症発生動向調査事業実施概要

(1) 福島県感染症発生動向調査事業の実施概要

1 実施体制

(1) 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱等

本事業の実施に関わる要綱等は、本誌IV 資料に掲げるとおりである。

(2) 指定届出医療機関（定点選定）

福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、指定届出医療機関【患者定点；①小児科：50 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（88）から（97）までに掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関を小児科定点として指定する.〕、②インフルエンザ：83 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（98）については、前記で選定した小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする.〕、③眼科：13 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（99）及び（100）については、眼科を標榜する医療機関を眼科定点とする.〕、④STD：17 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（101）から（104）については、産婦人科又は産科若しくは婦人科、性病科又は泌尿器科を標榜する医療機関を性感染症定点とする.〕、⑤基幹：7 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（91）のうち病原体がロタウイルスであるもの、（98）のうち入院患者であるもの及び（105）～（111）については、患者を300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各2次医療圏域毎に一カ所以上、基幹定点とする.〕、⑥疑似症：11 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（114）については、診療報酬に基づく特定集中治療室管理料、小児特定集中治療室管理料及びハイケアユニット入院医療管理料の届出をしている医療機関や法に基づく感染症指定医療機関、マスギャザリングにおいて、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関を疑似症定点とする.〕、及び病原体定点：19 医療機関〔選定された各患者定点の概ね10%を病原体定点とする.〕】を選定する。

(3) 福島県感染症発生動向調査企画委員会

本事業の実施の推進を図るため、福島県感染症発生動向調査企画委員会を福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により設置する。

(4) 福島県感染症情報解析委員会

収集した患者情報及び病原体情報をより専門的な観点から解析、提供を行うため、福島県感染症発生動向調査企画委員会のもとに福島県感染症情報解析委員会を設置する。

2 実施状況

(1) 情報収集

ア 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により、患者定点として選定された医療機関は、週単位（月曜日から日曜日まで）の場合は調査対象週の翌週の月曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の初日までに、FAX等で保健所に送信する。

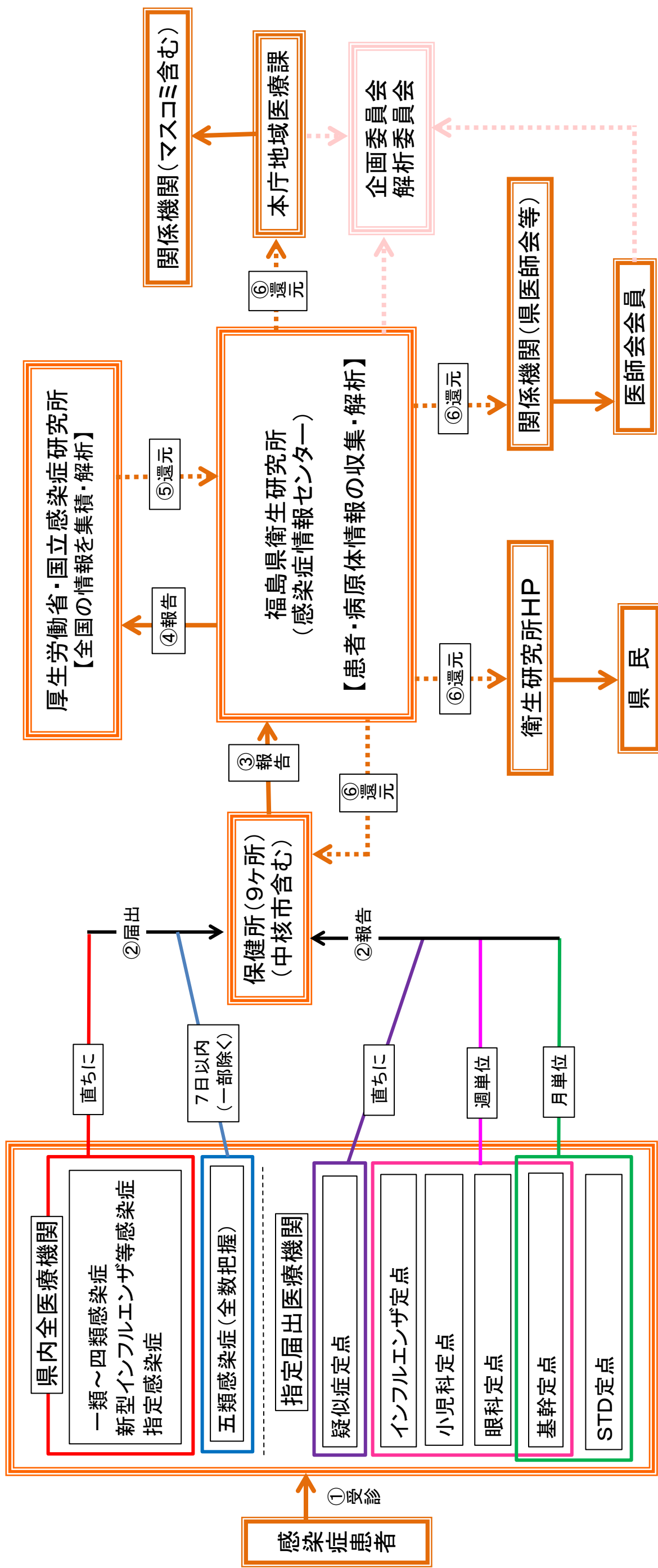
保健所は、患者定点から得られた患者情報を、原則として、週単位の場合は調査対象週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の初旬までに、福島県感染症情報センターへ感染症発生動向調査システム（NESID）により登録する。

イ 福島県病原体検査実施要領により、各病原体定点から採取された検体は、福島県衛生研究所で検査を行い、その結果を保健所を經由して診断した医師に通知するとともに、検査情報として福島県感染症情報センター及び福島県保健福祉部地域医療課に報告する。

(2) 情報還元

福島県感染症情報センターは、患者情報及び病原体情報を週単位および月単位で収集、解析し、その結果を全国情報と併せて、週報及び月報等として保健所に提供するとともに福島県医師会、その他関係機関等に提供・公開する。

(2) 福島県感染症情報センターの概念図(患者情報の流れ)



(3) 平成31年報告週対応表

週	報告期間	週	報告期間
1	12月31日～1月6日	27	7月1日～7月7日
2	1月7日～1月13日	28	7月8日～7月14日
3	1月14日～1月20日	29	7月15日～7月21日
4	1月21日～1月27日	30	7月22日～7月28日
5	1月28日～2月3日	31	7月29日～8月4日
6	2月4日～2月10日	32	8月5日～8月11日
7	2月11日～2月17日	33	8月12日～8月18日
8	2月18日～2月24日	34	8月19日～8月25日
9	2月25日～3月3日	35	8月26日～9月1日
10	3月4日～3月10日	36	9月2日～9月8日
11	3月11日～3月17日	37	9月9日～9月15日
12	3月18日～3月24日	38	9月16日～9月22日
13	3月25日～3月31日	39	9月23日～9月29日
14	4月1日～4月7日	40	9月30日～10月6日
15	4月8日～4月14日	41	10月7日～10月13日
16	4月15日～4月21日	42	10月14日～10月20日
17	4月22日～4月28日	43	10月21日～10月27日
18	4月29日～5月5日	44	10月28日～11月3日
19	5月6日～5月12日	45	11月4日～11月10日
20	5月13日～5月19日	46	11月11日～11月17日
21	5月20日～5月26日	47	11月18日～11月24日
22	5月27日～6月2日	48	11月25日～12月1日
23	6月3日～6月9日	49	12月2日～12月8日
24	6月10日～6月16日	50	12月9日～12月15日
25	6月17日～6月23日	51	12月16日～12月22日
26	6月24日～6月30日	52	12月23日～12月29日

Ⅱ 福島県感染症発生動向調査事業

一～五類，新型インフルエンザ等感染症，指定感染症全数把握，
及び五類感染症定点把握

法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の報告

(1) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症, 指定感染症
全数把握対象結果報告

●一類感染症〔全数把握〕

(1) エボラ出血熱, (2) クリミア・コンゴ出血熱, (3) 痘そう, (4) 南米出血熱, (5) ペスト, (6) マールブルグ病, (7) ラッサ熱の届出はなかった。

●二類感染症〔全数把握〕

(8) 急性灰白髄炎の届出はなかった。
(9) 結核の届出は 222 例であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31年	50	48	44	7	4	25	0	10	34	222
30年	34	33	53	7	21	38	0	9	55	250
29年	—	66	41	6	19	28	1	9	28	198

(10) ジフテリア, (11) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。), (12) 中東呼吸器症候群 (病原体がMERSコロナウイルスであるものに限る。), (13) 鳥インフルエンザ (H5N1), (14) 鳥インフルエンザ (H7N9) の届出はなかった。

●三類感染症〔全数把握〕

(15) コレラの届出はなかった。
(16) 細菌性赤痢の届出は 2 例あり, すべて郡山市〔47 週, 49 週 (ともに 10 歳代: *Shigella sonnei*)〕であった。

〔年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
31年	2 例	不明 (2 例)
30年	3 例	経口感染 (3 例)
29年	2 例	経口感染 (1 例), 不明 (1 例)

(17) 腸管出血性大腸菌感染症の届出は34例であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31年	4	4	11	3	6	4	0	2	0	34
30年	3	1	7	6	0	1	3	0	5	26
29年	—	15	9	4	0	4	0	0	5	37

〔年別月別届出数〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
31年	1	5	0	0	3	7	5	5	1	3	3	1	34
30年	0	0	0	0	0	3	3	12	2	2	3	1	26
29年	2	0	0	1	1	4	4	9	9	2	4	1	37

〔年別型別届出数〕

型	31年	30年	29年
O 26	11	3	12
O 55	0	1	0
O 91	0	1	0
O 103	3	5	0
O 111	0	3	0
O 121	5	1	4
O 125	0	0	1
O 126	0	1	0
O 128	0	0	0
O 145	2	0	1
O 152	1	0	0
O 157	9	9	15
不明他	3	2	4
計	34	26	37

(18) 腸チフス、(19) パラチフスの届出はなかった。

●四類感染症〔全数把握〕

(20) E型肝炎の届出は2例あり、福島市から1例〔19週（50歳代）〕、いわき市から1例〔24週（60歳代）〕であった。

(21) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）の届出はなかった。

(22) A型肝炎の届出は8例あり、福島市から1例〔42週（30歳代）〕、県北から1例〔13週（50歳代）〕、郡山市から2例〔2週、14週（ともに60歳代）〕、会津から2例〔6週（20歳代、60歳代）〕、相双から1例〔4週（30歳代）〕、いわき市から1例〔2週（50歳代）〕であった。

(23) エキノコックス症、(24) 黄熱、(25) オウム病、(26) オムスク出血熱、(27) 回帰熱、(28) キャサヌル森林病、(29) Q熱、(30) 狂犬病、(31) コクシジオイデス症、(32) サル痘、(33) ジカウイルス感染症、(34) 重症熱性血小板減少症候群（病原体がSFTSウイルスであるものに限る。）、(35) 腎症候性出血熱、(36) 西部ウマ脳炎、(37) ダニ媒介脳炎、(38) 炭疽、(39) チクングニア熱の届出はなかった。

(40) つつが虫病の届出は21例あり、春～夏（4～8月）に8例〔県北（3例）、郡山市（2例）、会津（3例）〕、秋～冬（10～1月）に13例〔県北（1例）、郡山市（2例）、県中（2例）、県南（7例）、相双（1例）〕であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31年	0	4	4	2	7	3	0	1	0	21
30年	0	3	0	7	8	1	0	1	1	21
29年	—	2	6	8	12	2	0	0	0	30

〔年別月別届出数〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
31年	2	0	0	2	2	3	1	0	0	1	8	2	21
30年	0	0	0	2	6	2	1	0	0	3	5	2	21
29年	0	0	1	1	5	2	0	0	0	3	15	3	30

(41) デング熱の届出は1例あり、福島市から〔40週（10歳代、感染地域：フィリピン）〕であった。

(42) 東部ウマ脳炎、(43) 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）、(44) ニパウイルス感染症の届出はなかった。

(45) 日本紅斑熱の届出は1例あり、会津から〔48週（60歳代、推定感染地域：只見町）〕であった。

(46) 日本脳炎、(47) ハンタウイルス肺症候群、(48) Bウイルス病、(49) 鼻疽、(50) ブルセラ症、(51) ベネズエラウマ脳炎、(52) ヘンドラウイルス感染症、(53) 発しんチフス、(54) ボツリヌス症、(55) マラリア、(56) 野兎病、(57) ライム病、(58) リッサウイルス感染症、(59) リフトバレー熱、(60) 類鼻疽の届出はなかった。

(61) レジオネラ症の届出は 36 例あり、福島市から 2 例〔28 週（60 歳代，70 歳代）〕，県北から 4 例〔8 週（80 歳代），11 週（60 歳代），23 週（60 歳代），48 週（80 歳代）〕，郡山市から 14 例〔20 週（70 歳代），21 週（50 歳代），26 週（60 歳代），27 週（60 歳代 2 例，70 歳代），29 週（50 歳代，60 歳代），31 週（80 歳代），32 週（60 歳代 2 例），38 週（60 歳代），40 週（60 歳代），51 週（60 歳代）〕，県中から 3 例〔9 週，28 週，49 週（すべて 70 歳代）〕，県南から 3 例〔32 週（70 歳代，90 歳代），38 週（60 歳代）〕，会津から 5 例〔23 週（80 歳代），31 週（80 歳代），33 週（60 歳代），35 週（60 歳代），37 週（90 歳代）〕，相双から 2 例〔19 週（80 歳代），27 週（60 歳代）〕，いわき市から 3 例〔29 週（60 歳代），30 週（70 歳代），32 週（70 歳代）〕であった。

〔年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
31 年	36 例	水系感染（12 例），塵埃感染（1 例），その他・不明（23 例）
30 年	26 例	水系感染（6 例），不明（20 例）
29 年	33 例	水系感染（17 例），塵埃感染（1 例），不明（15 例）

(62) レプトスピラ症の届出は 1 例あり，郡山市から〔46 週（40 歳代，感染地域：郡山市）〕であった。

(63) ロッキー山紅斑熱の届出はなかった。

●五類感染症〔全数把握〕

(64) アメーバ赤痢の届出は 11 例あり，福島市から 3 例〔9 週，11 週，22 週（すべて 50 歳代）〕，県北から 2 例〔17 週（50 歳代），22 週（60 歳代）〕，郡山市から 2 例〔7 週（50 歳代），37 週（40 歳代）〕，会津から 1 例〔12 週（60 歳代）〕，相双から 1 例〔25 週（50 歳代）〕，いわき市から 2 例〔32 週，37 週（ともに 50 歳代）〕であった。

〔年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
31 年	11 例	性的接触（3 例），経口感染（2 例），不明（6 例）
30 年	13 例	性的接触（3 例），経口感染（2 例），不明（8 例）
29 年	18 例	性的接触（3 例），経口感染（4 例），不明（11 例）

(65) ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く。）の届出は 3 例あり，福島市から 1 例〔B 型肝炎：20 週（60 歳代）〕，郡山市から 2 例〔B 型肝炎：26 週（60 歳代），B 型肝炎：44 週（20 歳代）〕であった。

(66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出は 70 例あり，福島市から 6 例〔13 週（10 歳代），23 週（60 歳代），37 週（40 歳代），39 週（60 歳代，70 歳代），51 週（80 歳代）〕，郡山市から 40 例〔1 週（80 歳代），2 週（70 歳代 2 例，80 歳代），3 週（70 歳代），4 週（50 歳代，80 歳代），6 週（60 歳代，70 歳代），7 週（80 歳代），8 週（60 歳代，70 歳代，80 歳代 2

例), 11 週 (80 歳代), 12 週 (70 歳代), 13 週 (10 歳代), 14 週 (30 歳代), 17 週 (60 歳代), 22 週 (70 歳代 2 例), 23 週 (90 歳代), 26 週 (60 歳代), 29 週 (60 歳代, 70 歳代), 32 週 (90 歳代), 35 週 (70 歳代, 80 歳代), 36 週 (80 歳代), 38 週 (50 歳代, 60 歳代), 39 週 (70 歳代 2 例, 80 歳代), 40 週 (70 歳代), 43 週 (70 歳代), 44 週 (60 歳代), 49 週 (60 歳代), 50 週 (70 歳代), 51 週 (70 歳代)], 県中から 2 例 [34 週 (10 歳代), 46 週 (50 歳代)], 県南から 1 例 [42 週 (90 歳代)], 会津から 16 例 [16 週 (90 歳代), 19 週 (70 歳代, 90 歳代), 20 週 (70 歳代), 21 週 (50 歳代), 30 週 (70 歳代), 31 週 (80 歳代), 32 週 (70 歳代), 35 週 (60 歳代), 36 週 (80 歳代, 90 歳代), 41 週 (80 歳代 2 例), 46 週 (70 歳代), 47 週 (80 歳代 2 例)], 相双から 2 例 [5 週 (60 歳代, 80 歳代)], いわき市から 3 例 [15 週 (80 歳代), 19 週 (80 歳代), 36 週 (80 歳代)] であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31 年	6	0	40	2	1	16	0	2	3	70
30 年	3	1	35	1	0	4	0	4	7	55
29 年	—	3	19	2	0	2	0	0	8	34

(67) **急性弛緩性麻痺**の届出は 7 例あり, 福島市から 3 例 [5 週, 17 週, 35 週 (すべて 10 歳代)], 郡山市から 2 例 [3 週, 9 週 (ともに 10 歳代)], 会津から 2 例 [11 週 (学童), 27 週 (10 歳代)] であった。

(68) **急性脳炎 (ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)**の届出は 2 例あり, 福島市から 1 例 [44 週 (50 歳代)], 郡山市から 1 例 [5 週 (70 歳代)] であった。

〔年別推定病原体別届出数〕

	報告例	推定される病原体
31 年	2 例	インフルエンザウイルス A 型 (1 例), 単純ヘルペスウイルス (1 例)
30 年	8 例	インフルエンザウイルス A 型 (2 例), インフルエンザウイルス B 型 (1 例), ヒトヘルペスウイルス (1 例), その他 (3 例), 不明 (1 例)
29 年	3 例	インフルエンザウイルス A 型 (2 例), 単純ヘルペスウイルス (1 例)

(69) **クリプトスポリジウム症**の届出はなかった。

(70) **クロイツフェルト・ヤコブ病**の届出は 4 例あり, 福島市から 1 例 [4 週 (70 歳代)], 郡山市から 2 例 [26 週, 31 週 (ともに 70 歳代)], 県南から 1 例 [21 週 (70 歳代)] であった。

(71) **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の届出は 10 例あり, 福島市から 2 例 [33 週 (60 歳代), 43 週 (70 歳代)], 郡山市から 4 例 [5 週 (70 歳代), 30 週 (70 歳代), 38 週 (50 歳代), 50 週 (60 歳代)], 県中から 1 例 [45 週 (80 歳代)], 会津から 2 例 [44 週 (80 歳代), 45 週 (90 歳代)] であった。

歳代)], いわき市から 1 例 [3 週 (40 歳代)] であった。

(72) 後天性免疫不全症候群の届出は 9 例あり, 福島市から 3 例 [21 週 (30 歳代: 男性, その他), 30 週 (30 歳代: 男性, 無症候) (40 歳代: 男性, その他)], 郡山市から 2 例 [34 週 (20 歳代: 男性, 無症候), 48 週 (40 歳代: 男性, AIDS)], 県中から 2 例 [12 週 (20 歳代: 男性, 無症候), 47 週 (40 歳代: 男性, AIDS)], 県南から 1 例 [25 週 (30 歳代: 女性, 無症候)], いわき市から 1 例 [47 週 (30 歳代: 男性, 無症候)] であった。

[年別推定感染原因・経路別届出数]

	報告例	推定される感染原因・経路
31 年	9 例	性的接触 (異性間 1 例, 同性間 4 例), 不明 (4 例)
30 年	6 例	性的接触 (異性間 4 例), 不明 (2 例)
29 年	12 例	性的接触 (異性間 3 例, 同性間 6 例), 不明 (3 例)

(73) ジアルジア症の報告の届出はなかった。

(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症の届出は 3 例あり, 郡山市から 1 例 [10 週 (80 歳代)], 会津から 1 例 [20 週 (80 歳代)], いわき市から 1 例 [23 週 (60 歳代)] であった。

(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症の届出はなかった。

(76) 侵襲性肺炎球菌感染症の届出は 38 例あり, 福島市から 10 例 [14 週 (学童), 17 週 (50 歳代 2 例), 19 週 (40 歳代), 22 週 (70 歳代, 80 歳代), 25 週 (80 歳代), 42 週 (30 歳代), 48 週 (30 歳代), 52 週 (80 歳代)], 県北から 1 例 [20 週 (70 歳代)], 郡山市から 11 例 [6 週 (50 歳代), 7 週 (70 歳代), 11 週 (80 歳代), 13 週 (60 歳代), 18 週 (幼児), 19 週 (60 歳代), 20 週 (60 歳代), 25 週 (60 歳代, 70 歳代), 49 週 (70 歳代), 50 週 (70 歳代)], 県中から 2 例 [22 週 (60 歳代), 49 週 (50 歳代)], 会津から 7 例 [4 週 (80 歳代), 18 週 (10 歳代), 26 週 (70 歳代), 45 週 (40 歳代, 70 歳代), 47 週 (幼児, 90 歳代)], 相双から 1 例 [8 週 (80 歳代)], いわき市から 6 例 [2 週 (幼児), 22 週 (50 歳代), 28 週 (60 歳代), 31 週 (80 歳代), 41 週 (70 歳代), 51 週 (幼児)] であった。

(77) 水痘 (入院例に限る。) の届出は 3 例あり, 県北から 1 例 [23 週 (60 歳代)], 郡山市から 2 例 [17 週 (60 歳代), 28 週 (30 歳代)] であった。

(78) 先天性風しん症候群の届出はなかった。

(79) 梅毒の届出は 90 例であった。

[年別保健所別届出数]

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31 年	7	7	31	4	4	3	0	1	33	90
30 年	1	5	22	2	3	6	0	4	61	104
29 年	—	11	20	4	0	6	0	0	26	67

〔年別年齢群別届出数〕

	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	計
31 年	0	3	18	25	27	12	3	2	90
30 年	0	4	25	27	20	18	7	3	104
29 年	1	4	19	14	14	6	3	6	67

〔年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
31 年	90 例	性的接触（異性間 67 例，同性間 4 例，詳細不明 6 例）， その他・不明（13 例）
30 年	104 例	性的接触 （異性間 88 例，同性間 2 例，異性間・同性間 1 例，詳細不明 3 例）， 不明（10 例）
29 年	67 例	性的接触（異性間 51 例，同性間 1 例，詳細不明 3 例）， 母子感染（1 例），不明（11 例）

(80) 播種性クリプトコックス症の届出は 1 例あり，郡山市から 1 例〔48 週（40 歳代）〕であった。

(81) 破傷風の届出は 1 例あり，県南から 1 例〔34 週（70 歳代）〕であった。

(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症の届出はなかった。

(84) 百日咳の届出は 283 例であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31 年	27	68	56	119	3	4	0	5	1	283
30 年	21	56	46	1	3	3	0	5	7	142

〔年別年齢群別届出数〕

	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	計
31 年	96	126	4	13	23	11	8	2	283
30 年	70	41	3	6	15	4	2	1	142

(85) 風しんの届出は 18 例あり，福島市から 7 例〔8 週（30 歳代），9 週（30 歳代），12 週（20 歳代），26 週（40 歳代），28 週（40 歳代），32 週（60 歳代），39 週（70 歳代）〕，郡山市から 3 例〔28 週（40 歳代），34 週（30 歳代），51 週（40 歳代）〕，県南から 2 例〔14 週（30 歳代），22 週（20 歳代）〕，相双から 4 例〔2 週（20 歳代），4 週（20 歳代），6 週（40 歳代），13

週（40歳代），いわき市から2例〔1週，28週（ともに30歳代）〕であった。

〔年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
31年	7	0	3	0	2	0	0	4	2	18
30年	3	0	4	0	1	0	0	0	1	9
29年	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔年別年齢群別届出数〕

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	計
31年	0	0	4	6	6	0	1	1	18
30年	0	0	1	2	5	1	0	0	9
29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(86) 麻しんの届出は2例あり，福島市から1例〔12週（40歳代）〕，郡山市から1例〔12週（40歳代）〕であった。

(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症の届出はなかった。

●新型インフルエンザ等感染症〔全数把握〕

(112) 新型インフルエンザ，(113) 再興型インフルエンザの報告はなかった。

●指定感染症〔全数把握〕

該当なし

(2) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症, 指定感染症全数把握報告調査結果

対象疾患		全 国			福 島 県		
		平成31年*	平成30年	平成29年	平成31年*	平成30年	平成29年
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核	21,675	22,448	23,427	222	250	198
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(※1)						
	中東呼吸器症候群(※2)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ	5	4	7			
	細菌性赤痢	140	268	141	2	3	2
	腸管出血性大腸菌感染症	3,741	3,854	3,904	34	26	37
	腸チフス	37	35	37			
	パラチフス	21	23	14			
	E型肝炎	493	446	305	2	5	4
四類	ウエストナイル熱						
	A型肝炎	425	926	285	8	10	
	エキノコックス症	24	19	30			
	黄熱						
	オウム病	13	6	13			
	オムスク出血熱						
	回帰熱	7	6	8			
	キャサヌル森林病						
	Q熱	2	3				
	狂犬病						
	コクシジオイデス症	2	2	4			
	サル痘						
	ジカウイルス感染症(※3)	3		5			
	重症熱性血小板減少症候群(※4)	101	77	90			
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎		1	2			
	炭疽						
	チクングニア熱	49	4	5			
	つつが虫病	404	456	447	21	21	30
	デング熱	461	201	245	1	2	1
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(※5)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱	318	305	337	1		
	日本脳炎	9		3			
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病	2					
	鼻疽						
	ブルセラ症	2	3	2			
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発しんチフス						
ボツリヌス症	3	2	4				
マラリア	57	50	61				
野兔病							
ライム病	17	13	19				
リッサウイルス感染症							
リフトパレー熱							
類鼻疽	2	2	1				
レジオネラ症	2,314	2,142	1,733	36	26	33	
レプトスピラ症	32	32	46	1			
ロッキー山紅斑熱							

対象疾患		全 国			福 島 県		
		平成31年*	平成30年	平成29年	平成31年*	平成30年	平成29年
五類	アメーバ赤痢	851	843	1,089	11	13	18
	ウイルス性肝炎（A・E型を除く）	330	277	294	3		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2,333	2,289	1,660	70	55	34
	急性弛緩性麻痺(※6)	77	141		7	2	
	急性脳炎(※7)	959	679	702	2	8	3
	クリプトスポリジウム症	19	25	19			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	193	221	200	4	4	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	926	694	587	10	17	4
	後天性免疫不全症候群	1,233	1,301	1,395	9	6	12
	ジアルジア症	53	68	60			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	543	488	372	3	7	6
	侵襲性髄膜炎菌感染症	48	37	25			
	侵襲性肺炎球菌感染症	3,342	3,328	3,205	38	23	27
	水痘（入院例に限る。）	492	466	312	3	6	2
	先天性風しん症候群	4					
	梅毒	6,639	7,007	5,826	90	104	67
	播種性クリプトコックス症	156	182	137	1	3	3
	破傷風	126	134	125	1	2	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	80	80	83			
百日咳(※8)	16,846	12,115		283	142		
風しん	2,306	2,941	91	18	9		
麻しん	746	279	186	2	10		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24	24	28				
新型 イン フル エン ザ等	新型インフルエンザ						
	再興型インフルエンザ						
指定 感染 症	該当なし						

*平成31年のデータは未確定です

(※1) 病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る

(※2) 病原体がMERSコロナウイルスであるものに限る

(※3) 平成28年2月15日より調査開始

(※4) 病原体がSFTSウイルスであるものに限る

(※5) H5N1及びH7N9を除く

(※6) 平成30年5月1日より調査開始

(※7) ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

(※8) 平成30年1月1日より調査開始

(3) 五類感染症定点把握対象結果報告

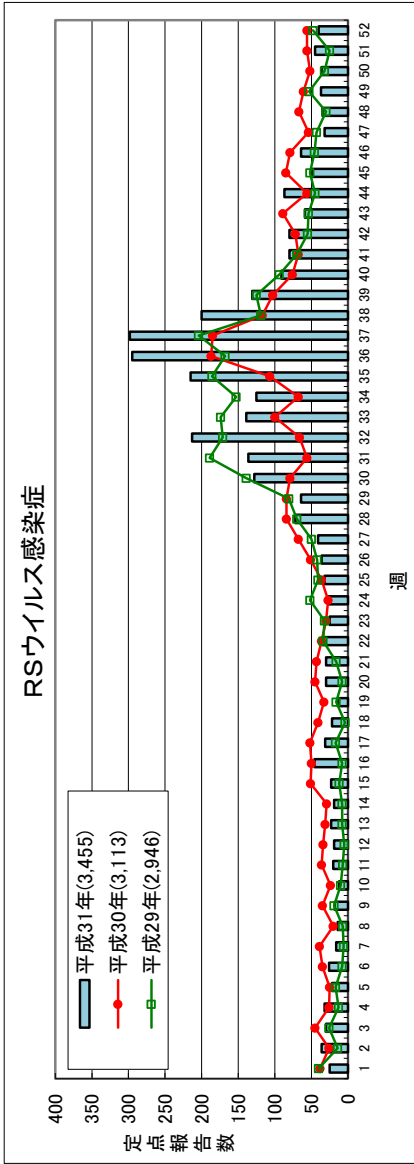
● 五類感染症対象疾患（定点把握） *平成31年のデータは未確定です

(98) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。〕	(83 インフルエンザ定点)	週報対象疾患*	
(88) RS ウイルス感染症	(50 小児科定点)		
(89) 咽頭結膜熱	(50 小児科定点)		
(90) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(50 小児科定点)		
(91) 感染性胃腸炎	(50 小児科定点)		
(92) 水痘	(50 小児科定点)		
(93) 手足口病	(50 小児科定点)		
(94) 伝染性紅斑	(50 小児科定点)		
(95) 突発性発しん	(50 小児科定点)		
(96) ヘルパンギーナ	(50 小児科定点)		
(97) 流行性耳下腺炎	(50 小児科定点)		
(99) 急性出血性結膜炎	(13 眼科定点)		
(100) 流行性角結膜炎	(13 眼科定点)		
(105) クラミジア肺炎〔オウム病を除く。〕	(7 基幹定点)		
(106) 細菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(108) マイコプラズマ肺炎	(7 基幹定点)		
(109) 無菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(98) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。〕(入院)	(7 基幹定点)		月報対象疾患*
(91) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	(7 基幹定点)		
(101) 性器クラミジア感染症	(17 STD 定点)		
(102) 性器ヘルペスウイルス感染症	(17 STD 定点)		
(103) 尖圭コンジローマ	(17 STD 定点)		
(104) 淋菌感染症	(17 STD 定点)		
(107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(7 基幹定点)		
(110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(7 基幹定点)		
(111) 薬剤耐性緑膿菌感染症	(7 基幹定点)		

● 五類感染症（定点把握）患者地域別定点医療機関数

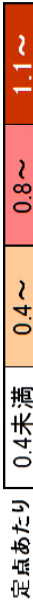
	インフルエンザ [※] 定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
福島市	12	7	2	1	3
県北	9	5	2	0	2
郡山市	13	8	2	1	3
県中	10	6	1	0	2
県南	7	4	1	1	1
会津	10	6	2	1	2
南会津	3	2	0	1	0
相双	6	4	1	1	1
いわき市	13	8	2	1	3
計	83	50	13	7	17

(88)RSウイルス感染症



RSウイルス感染症 (50小児科定点)

定数からの年間報告数は3,455人であった。例年11月頃にピークを迎えていたが、平成31年は、第37週(9月9日～9月15日)にピークを迎えた。平成28年以降、ピークが早まる傾向がみられている。年齢構成では、1歳以下の報告が約7割(65.3%)を占めた。



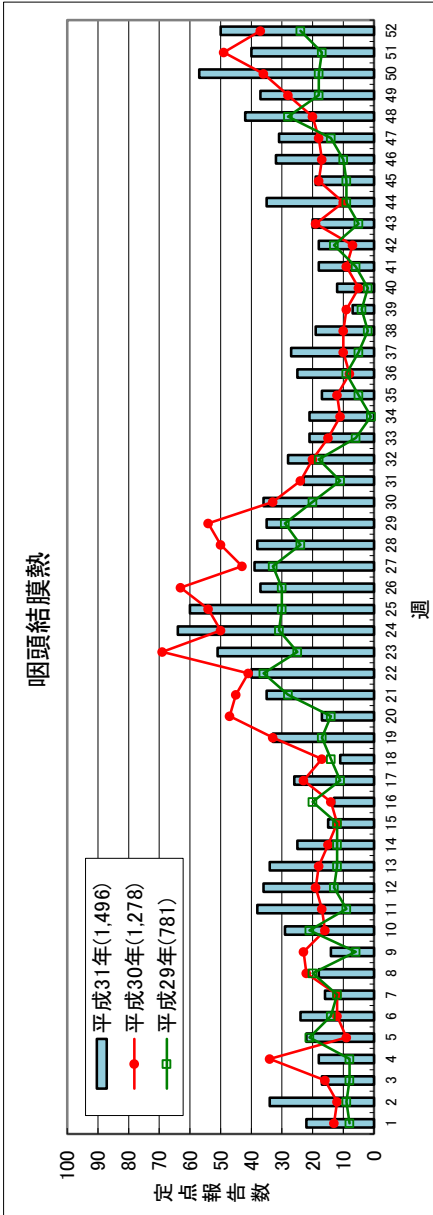
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計	
福島市	6	7	6	6	3	2	3	2	1	3	2	0	2	1	0	0	2	4	0	0	0	12	6	4	4	7	4	3	432
県北	2	9	7	8	6	3	0	2	1	2	3	3	4	5	2	1	3	3	1	8	2	3	4	10	5	3	3	680	
郡山市	4	2	2	0	0	2	1	1	2	2	1	1	3	3	3	2	8	3	1	6	2	1	0	2	4	5	1	536	
県南	0	3	3	4	1	2	2	0	2	0	2	0	0	2	1	2	2	0	0	3	2	1	0	1	0	0	1	269	
県中	4	4	2	0	2	2	2	0	0	1	1	1	2	0	0	0	2	0	1	4	1	3	1	1	0	0	0	172	
県南	1	2	2	7	5	4	1	2	1	1	1	1	2	1	10	25	9	2	3	4	11	9	10	4	10	18	9	764	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	
南会	2	5	5	3	1	9	5	2	9	2	5	4	5	1	1	1	3	2	3	1	0	1	2	4	4	3	18	319	
相双	6	4	3	4	4	2	2	2	2	1	5	9	5	5	5	8	4	6	5	4	12	5	2	1	2	2	0	0	245
いわき市	25	36	30	32	22	26	16	14	18	12	20	19	23	19	23	46	31	22	14	30	30	35	25	27	32	36	41	41	
H31	38	26	45	26	25	35	39	20	35	24	36	34	31	29	51	50	52	41	33	45	43	36	30	27	36	51	68	68	
H30	40	14	26	13	17	8	6	7	19	10	7	5	8	8	12	8	17	4	16	8	16	34	32	52	41	42	50	50	
H29	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	432	
福島市	7	15	13	28	51	12	21	24	39	30	19	8	9	9	13	2	7	2	8	2	1	4	7	8	7	-	-	432	
県北	3	13	32	25	36	34	24	59	47	50	39	24	18	20	17	20	19	12	16	7	14	12	8	11	17	-	-	680	
郡山市	7	11	19	19	59	37	32	34	50	48	36	22	18	7	9	5	13	7	6	2	2	2	7	10	5	-	-	536	
県南	0	4	13	20	16	20	14	13	22	39	9	14	11	10	0	2	2	2	1	0	5	2	6	5	5	-	-	269	
県中	0	0	9	8	7	6	0	15	24	17	12	6	7	5	8	3	5	2	1	1	1	0	0	1	0	-	-	172	
県南	8	1	5	1	14	14	16	51	89	88	65	44	17	20	27	19	34	20	25	15	7	13	3	9	4	-	-	764	
津会	0	0	0	0	2	0	1	6	4	7	2	1	1	1	2	2	3	0	3	0	1	0	0	0	0	-	-	38	
南会	45	17	25	22	21	5	8	3	13	6	5	5	5	3	2	5	3	3	3	5	3	2	3	1	2	0	0	319	
相双	2	3	12	13	7	11	9	10	7	13	13	7	5	5	2	1	1	1	2	0	1	2	2	0	0	-	-	245	
H31	72	64	128	136	213	139	125	215	295	298	200	131	91	80	80	59	87	49	64	32	35	37	36	45	40	-	-	3,455	
H30	84	84	79	56	66	100	68	107	187	185	117	103	76	68	72	89	56	85	79	54	67	61	52	56	56	-	-	3,113	
H29	70	81	139	189	171	174	153	186	168	204	119	125	94	70	55	54	45	52	46	43	30	53	32	25	48	-	-	2,946	

年齢構成

年齢	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
H31	442	555	1258	599	319	155	63	27	9	8	6	8	0	6	3,455
H30	452	622	1114	469	250	103	44	16	9	10	4	10	1	9	3,113

(89) 咽頭結膜熱



咽頭結膜熱 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は1,496人であり、前年よりやや増加した。第21週(5月20日～5月26日)から第30週(7月2日～7月8日)にかけて定点あたり0.5人を超える山型の流行曲線がみられ、第24週(6月10日～6月16日)の64人(定点あたり1.28人)がピークであった。

年齢構成では、1歳の報告が最も多く、1～4歳が約7割(70.6%)を占めた。

定点あたり 0.2未満 0.2～ 1.0～ 3.0～

平成31年 報告数

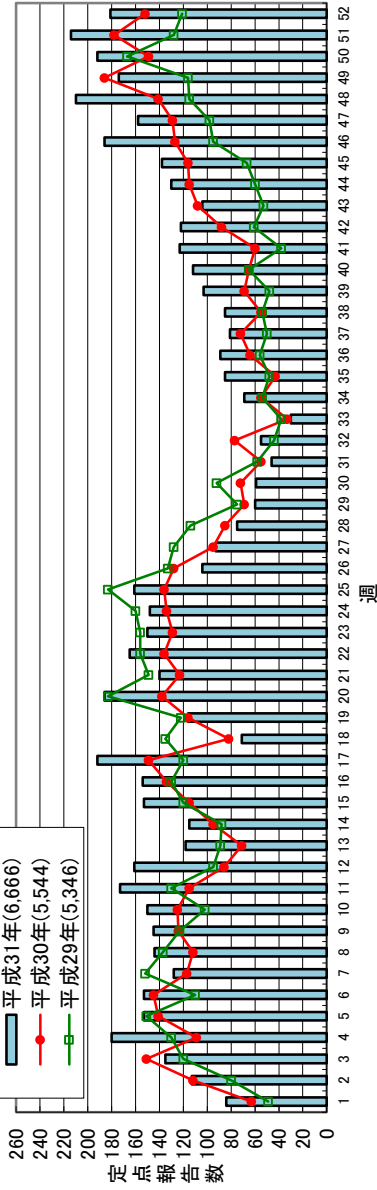
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	8	7	3	3	3	5	5	1	2	2	8	10	11	6	6	2	13	3	5	2	7	6	7	7	3	8	9	211
県北	2	5	4	5	2	5	3	3	1	12	22	13	9	10	6	3	4	1	6	2	13	7	11	6	13	5	305	
郡山市	5	9	4	4	8	4	6	6	1	7	4	6	4	5	1	4	8	1	8	3	6	10	9	14	17	6	326	
県南	0	4	4	2	3	4	0	3	3	2	1	5	6	2	1	0	0	1	4	2	1	3	5	4	9	3	120	
県会	1	3	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	3	0	0	2	1	2	1	0	40	
津南	3	3	0	3	3	3	0	2	1	1	1	0	1	1	0	2	0	2	6	2	0	3	6	15	9	5	254	
津南	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	2	2	1	26	
相双	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	57	
いわき市	2	3	2	1	1	2	0	3	4	2	1	1	2	1	1	2	1	0	1	4	8	7	12	12	6	7	157	
H31	22	34	17	18	22	24	16	18	14	29	38	36	34	25	15	13	26	11	33	17	35	40	51	64	60	37	39	
H30	13	12	16	34	9	12	12	22	23	16	17	19	18	15	12	14	23	17	33	47	45	41	69	50	54	63	43	
H29	8	9	8	8	21	14	12	20	6	21	9	13	12	12	12	20	11	14	17	14	28	36	25	31	30	30	33	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	2	5	6	2	2	1	4	1	3	5	2	1	0	3	0	0	6	0	1	0	4	3	3	4	1	-	211	
県北	6	3	9	5	7	6	3	2	0	3	3	0	3	4	6	10	8	4	7	5	6	4	3	5	15	-	305	
郡山市	12	12	11	6	10	6	6	3	2	2	0	0	0	2	2	0	7	2	3	6	8	10	22	10	18	-	326	
県南	2	1	1	2	3	2	3	4	3	6	5	0	0	2	0	2	3	2	0	1	1	0	0	1	0	-	120	
県会	2	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	3	0	0	-	40	
津南	5	8	3	5	4	3	2	3	11	8	6	3	7	6	6	5	6	8	13	15	11	12	13	7	4	-	254	
津南	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	-	26	
相双	2	4	3	2	1	0	0	1	3	0	1	1	2	0	1	0	2	1	6	1	6	3	5	3	4	-	57	
いわき市	7	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	0	1	3	2	2	1	2	2	2	3	3	8	9	7	157	
H31	38	35	36	23	28	21	21	17	25	27	19	7	12	18	18	20	35	19	32	31	42	37	57	40	50	-	1,496	
H30	50	54	33	24	20	15	11	12	8	10	10	9	5	9	7	19	10	18	17	18	20	28	36	49	37	-	1,278	
H29	24	29	20	11	18	6	1	5	9	5	2	4	2	6	13	5	9	9	10	14	28	18	18	17	24	-	781	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	6	98	440	236	209	171	132	62	44	33	20	31	3	11	1,496
H30	3	73	319	210	188	179	97	68	50	34	17	27	3	10	1,278

(90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は6,666人であった。県北、郡山市、県中、会津、相双では、継続した流行がみられた。年齢構成では、3～6歳の報告が約5割(54.1%)を占めた。

定点あたり 0.5未満 0.5～ 4.0～ 8.0～

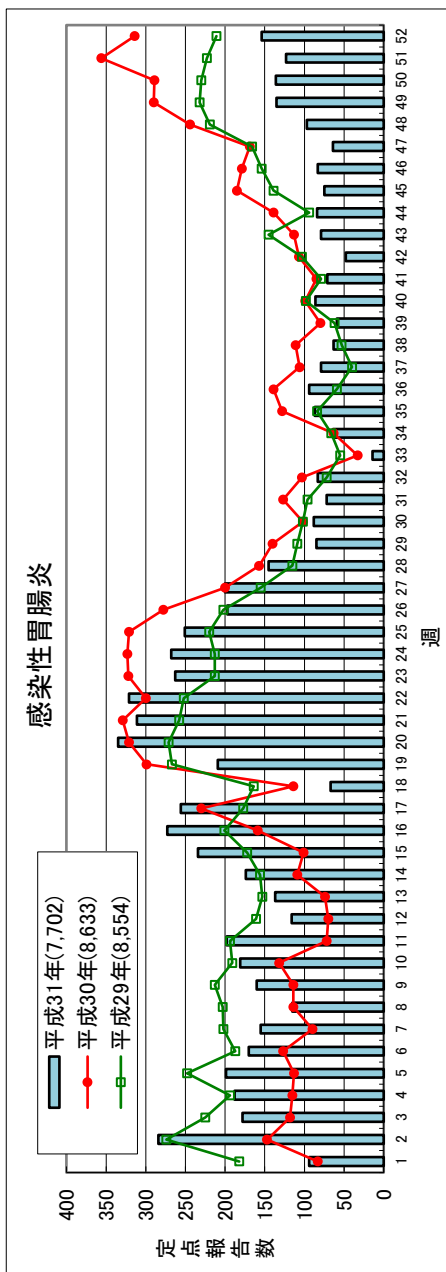
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	7	5	13	25	22	19	13	17	19	18	20	37	12	16	13	15	17	9	17	15	12	23	12	15	24	16	18	675
県北	13	29	25	36	25	20	24	12	22	9	25	22	11	12	14	12	29	5	19	23	20	19	13	20	23	9	9	946
郡山市	18	18	31	40	36	45	27	35	39	36	42	24	24	23	30	50	42	29	27	33	31	49	34	29	38	21	20	1,288
県中	0	4	6	11	7	12	6	12	16	13	18	15	15	19	31	13	38	9	16	43	25	24	23	24	13	15	12	933
県南	6	5	3	7	12	5	10	6	3	9	6	6	3	6	5	11	9	3	3	11	11	9	5	4	2	7	5	303
会津	7	9	11	14	9	12	7	11	5	16	10	16	10	15	19	14	15	2	6	25	17	20	45	38	35	22	17	1,019
南会津	3	4	1	6	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	42
相双	12	9	8	14	10	12	9	9	14	15	17	12	18	10	14	9	15	1	10	8	8	7	5	5	15	6	6	538
いわき市	18	30	37	27	31	26	32	42	26	34	35	28	24	14	26	30	27	7	18	28	16	13	13	12	11	8	5	922
H31	84	113	135	180	153	128	144	145	150	173	161	118	115	153	154	192	71	116	116	186	140	165	150	148	161	104	93	1,288
H30	63	112	151	109	141	145	117	112	124	125	115	86	71	95	115	134	149	82	116	138	123	136	129	134	136	128	95	922
H29	49	80	120	130	151	110	152	137	123	102	130	95	89	88	120	130	120	135	122	183	149	156	156	160	183	133	128	922
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	15	13	8	5	9	2	2	6	6	7	10	11	6	8	11	8	8	7	13	11	10	13	15	12	10	-	675	
県北	3	5	6	5	6	5	13	12	12	7	10	10	19	12	26	25	16	20	24	27	39	40	38	35	31	-	946	
郡山市	18	9	9	10	17	4	8	13	8	8	18	13	14	13	21	13	18	22	26	12	22	26	32	35	28	-	1,288	
県中	8	4	9	5	2	0	4	5	4	5	11	18	16	43	19	28	35	39	43	27	52	24	29	31	32	-	933	
県南	5	2	4	6	3	4	5	0	4	7	2	5	3	8	8	4	3	7	8	7	3	10	3	7	7	-	303	
会津	19	12	16	8	11	11	26	28	34	33	24	25	23	15	25	12	22	19	28	29	32	26	39	47	28	-	1,019	
南会津	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2	2	-	42	
相双	2	4	3	5	3	0	5	11	8	3	7	15	16	11	4	9	14	15	16	15	16	16	16	24	22	-	538	
いわき市	4	9	4	2	4	3	6	10	13	11	3	3	13	13	8	5	14	9	28	28	35	18	19	21	21	-	922	
H31	75	60	59	46	55	30	69	85	89	81	85	103	112	123	122	104	130	138	186	158	210	174	192	214	181	-	6,666	
H30	85	69	72	55	77	33	55	43	64	72	55	69	65	60	88	108	115	116	127	129	141	186	149	178	152	-	5,544	
H29	114	75	92	58	44	38	54	48	56	50	54	48	65	38	61	53	60	67	95	98	115	116	167	128	121	-	5,346	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	3	28	244	471	752	1035	1007	809	568	488	390	711	49	111	6,666
H30	4	16	208	344	633	878	845	684	496	432	326	530	37	111	5,544

(91) 感染性胃腸炎



感染性胃腸炎 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は7,702人であり、前年の約9割に減少した。

第16週(4月15日～4月21日)から第24週(6月10日～6月16日)にかけて緩やかな山型の流行曲線がみられた。

年齢構成では、1歳の報告が最も多く、1～5歳が約5割(54.2%)を占めた。

定点あたり 5.1未満 5.1～ 12.0～ 20.0～

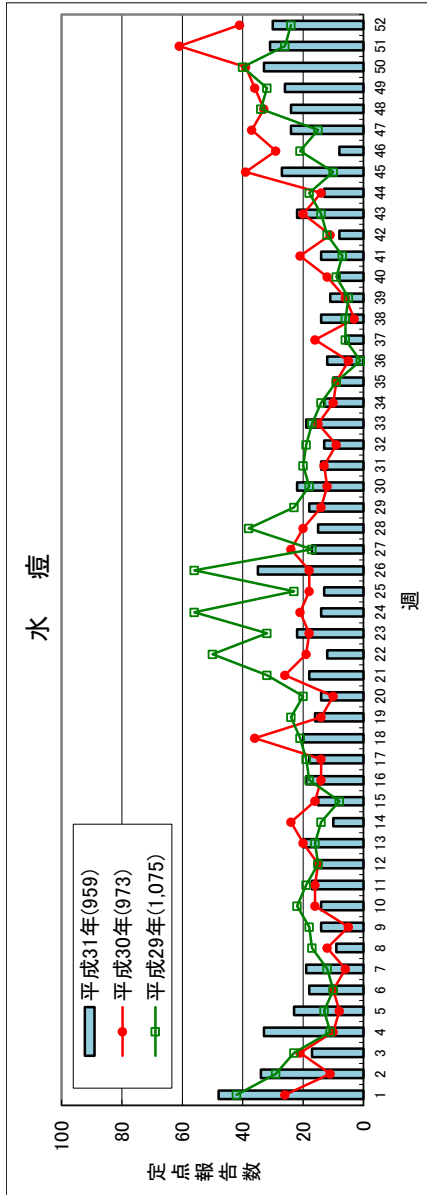
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	6	23	23	25	41	29	14	10	18	20	22	12	8	10	15	18	32	25	32	57	52	50	34	43	29	23	22
県北	17	25	23	18	17	22	19	25	25	31	21	14	13	20	17	31	53	7	60	53	29	45	35	41	40	37	31
郡山市	15	19	9	26	19	12	18	16	10	15	15	14	17	17	12	20	22	7	21	26	11	18	27	13	21	13	19
県中	3	72	51	46	34	35	16	18	29	37	34	25	41	70	119	83	73	2	42	57	41	54	36	59	46	40	44
県南	15	56	15	17	31	16	17	9	8	15	21	5	11	12	25	37	16	11	15	48	51	25	24	24	28	26	29
県会	2	35	9	19	17	17	29	15	21	30	43	25	24	24	31	41	18	7	7	40	73	85	43	43	47	21	17
津南	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
相双	11	14	16	19	26	27	27	21	41	21	35	16	19	15	7	17	22	0	15	23	21	13	24	14	16	28	30
いわき市	25	40	28	18	14	12	15	1	8	10	7	4	3	6	8	26	20	8	17	31	33	31	29	30	24	8	7
H31	94	284	178	188	199	170	155	115	160	181	198	116	137	174	234	273	256	67	209	335	311	321	263	268	251	197	200
H30	83	147	118	115	113	127	90	114	114	132	72	70	74	109	101	159	230	114	299	321	329	300	322	323	321	278	200
H29	182	274	225	194	248	187	202	203	213	191	194	161	153	156	172	201	177	164	267	271	258	252	213	213	220	202	155
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
福島市	21	10	9	8	23	3	7	13	11	19	5	5	12	11	12	12	5	14	6	6	1	34	18	20	17	-	995
県北	18	20	15	8	11	7	8	12	14	13	9	12	18	13	5	21	17	12	11	12	17	18	25	19	15	-	1,119
郡山市	22	5	11	7	11	1	9	9	4	5	14	4	4	2	5	7	4	10	13	9	6	5	9	10	15	-	645
県中	30	27	23	19	18	0	16	16	25	7	2	19	23	14	12	21	16	12	15	12	37	36	30	27	42	-	1,706
県南	13	3	11	9	7	2	6	2	3	0	3	1	1	4	3	3	10	3	7	5	11	8	13	12	11	-	758
県会	10	5	8	10	6	1	7	18	22	12	16	7	12	13	4	8	13	12	9	12	9	8	10	11	11	-	1,047
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	12
相双	14	8	10	9	6	0	6	10	4	9	6	5	9	5	2	2	5	3	6	5	8	9	9	7	16	-	711
いわき市	17	7	1	2	1	0	13	7	11	14	8	6	7	9	5	5	14	4	16	3	8	17	22	17	27	-	709
H31	145	85	88	72	83	14	64	87	94	79	63	59	86	71	48	79	84	75	83	64	97	135	136	123	154	-	7,702
H30	157	140	102	127	103	33	63	128	139	106	111	80	99	85	107	113	139	185	179	169	244	290	289	356	314	-	8,633
H29	115	109	102	96	72	55	66	84	59	40	53	62	98	79	103	145	94	139	154	166	219	232	230	223	211	-	8,554

年齢構成

	～5ヶ月	～1ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	58	504	1142	865	787	735	648	532	442	396	317	835	146	295	7,702
H30	53	451	1324	968	833	932	754	594	456	410	325	984	147	402	8,633

(92)水痘



水痘 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は959人であり、前年とほぼ同様の報告数となったが、定期接種開始となった平成26年以前と比べ半減しており、毎年少しずつ減少傾向がみられている。

年齢構成では、定期接種対象者(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで)となる1~2歳の報告は約1割(12.3%)であった。

定点あたり 1.0未満 1.0~ 2.0~ (平成30年36週より)

定点あたり 2.0未満 2.0~ 4.0~ 7.0~

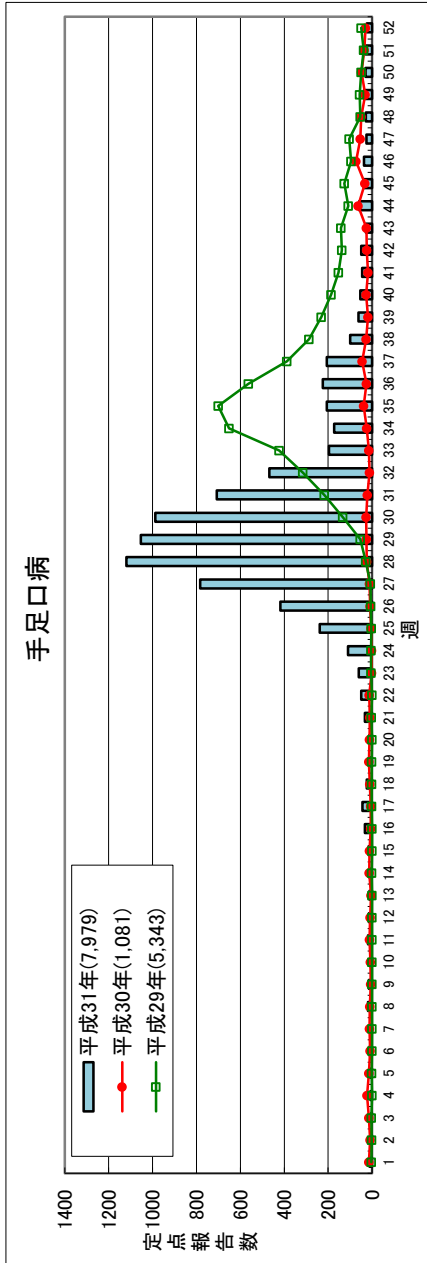
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	3	5	0	1	5	0	3	1	4	1	5	3	4	2	5	6	4	3	2	2	1	2	1	0	0	0	3	113
郡山市	0	0	2	0	2	1	0	3	0	0	6	1	2	2	2	6	6	1	0	0	4	0	5	2	2	0	2	82
伊那市	21	11	7	7	4	2	4	0	3	2	1	3	4	2	3	3	1	4	4	0	3	1	2	4	0	2	1	174
南会津市	0	7	0	9	3	3	2	0	2	2	1	4	1	3	1	5	3	0	1	2	2	0	8	1	4	11	195	
相双市	1	1	0	0	0	4	0	3	2	4	0	1	2	1	1	3	2	2	6	4	5	0	1	1	1	4	70	
いわき市	8	1	3	0	2	0	2	0	3	4	2	1	2	0	1	0	1	0	0	1	2	0	1	1	0	1	0	74
南会津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
相双市	6	8	1	12	4	6	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	9	4	4	5	9	64	
いわき市	9	1	4	4	3	2	6	0	1	1	0	2	2	0	2	1	4	0	3	4	1	9	4	4	0	9	182	
H31	48	34	17	33	23	18	19	9	14	14	17	15	20	10	15	19	18	20	16	14	18	12	22	14	13	35	17	
H30	26	11	21	10	8	10	6	12	5	16	16	15	20	24	16	14	14	36	14	10	26	19	18	21	18	18	24	
H29	42	29	23	11	13	10	12	17	18	22	19	15	16	14	8	18	19	21	24	20	32	50	32	56	23	56	17	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	0	2	0	1	2	0	1	2	0	5	4	2	2	0	2	1	0	0	0	5	3	10	5	2	-	113	
郡山市	0	6	1	2	0	1	2	0	3	0	0	3	2	0	3	1	1	2	0	2	0	1	0	1	2	-	82	
伊那市	4	3	8	3	5	1	0	3	1	0	2	3	3	1	2	2	2	1	1	3	4	0	6	2	1	-	174	
南会津市	3	3	3	1	2	2	1	1	2	2	3	0	0	5	1	3	2	8	3	9	10	13	9	20	14	-	195	
相双市	3	1	2	0	1	3	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	-	70	
いわき市	1	2	3	1	1	0	0	0	2	1	0	0	1	3	2	9	5	3	1	0	2	0	1	0	0	-	74	
H31	15	18	22	14	13	19	13	10	12	6	14	11	8	14	8	22	13	27	8	24	24	26	33	31	30	-	959	
H30	20	14	12	13	9	15	10	9	5	16	3	6	12	21	11	20	14	39	29	37	33	36	39	61	41	-	973	
H29	38	23	18	20	19	17	14	9	1	6	6	5	9	7	12	14	18	10	21	15	34	32	40	26	24	-	1,075	

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	合計	
H31	6	28	75	43	64	85	98	124	116	119	88	105	4	4	959									
H30	15	31	80	36	78	114	130	106	129	95	60	92	6	1	973									

(93) 手足口病



手足口病 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は7,979人であり、前年の7倍以上に大幅に増加した。第26週(6月24日～6月30日)から第32週(8月5日～8月11日)にかけて定点あたり5.0人を超える山型の流行曲線がみられ、第28週(7月8日～7月14日)の1,120人(定点あたり22.4人)がピークであった。6月中旬から9月上旬にかけて県内全域で流行が見られた。年齢構成では、1歳の報告が最も多く、1～3歳が約7割(67.2%)を占めた。

定点あたり 1.0未満 1.0～ 2.0～ 5.0～

平成31年 報告数

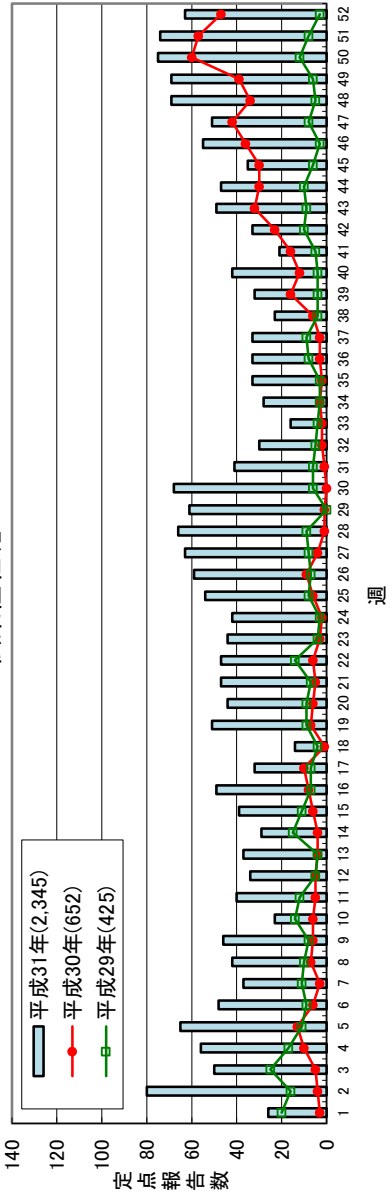
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	0	1	0	3	2	0	0	3	5	4	2	1	0	1	2	9	5	2	0	0	1	1	0	3	18	47	136	
郡山市	3	0	2	0	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4	6	14	55	95	
伊勢崎市	3	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	11	24	33	53	87	77	114	
会津若松市	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	3	35	61	126
南相模市	4	0	1	0	0	4	3	12	2	0	1	4	5	3	5	2	2	0	1	0	4	7	6	13	31	32	83	
相模原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
いわき市	2	0	0	1	3	1	2	3	7	5	14	9	7	9	9	21	36	21	9	2	10	15	16	25	51	113	170	
H31	12	3	5	7	11	12	9	19	14	9	18	15	12	13	16	32	44	24	13	13	32	49	61	110	239	417	783	
H30	14	9	15	23	14	9	11	10	6	7	12	9	4	13	12	6	6	10	15	12	10	13	2	2	2	4	9	11
H29	3	2	3	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	2	2	2	0	3	1	4	4	3	6	7	
福島市	174	170	110	96	51	25	10	22	18	33	13	10	11	12	12	11	28	22	14	8	10	8	7	6	3	3	-	1,130
郡山市	123	82	82	42	33	12	12	21	26	20	9	9	8	10	6	5	12	2	5	10	5	12	9	2	3	-	-	756
伊勢崎市	146	90	80	73	49	18	13	16	11	10	9	2	6	3	4	0	5	5	8	2	4	8	6	7	9	-	-	1,003
南相模市	142	128	132	88	56	14	17	20	16	5	6	10	6	8	11	3	5	5	3	0	1	0	3	13	6	-	-	937
会津若松市	93	89	56	36	18	18	9	15	19	21	14	12	5	3	8	3	2	2	7	4	5	6	5	0	1	-	-	556
南相模市	165	172	219	99	46	12	9	13	17	15	12	3	6	1	5	0	2	1	0	1	0	3	0	2	2	-	-	1,030
相模原市	5	13	21	9	7	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	65
いわき市	19	53	95	93	90	40	63	60	65	54	14	3	5	6	1	3	4	0	0	1	3	0	0	0	0	-	-	684
H31	253	256	193	171	100	57	40	36	52	48	23	13	7	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1,818
H30	1120	1053	988	707	468	197	172	206	224	206	100	62	54	45	49	28	59	37	73	53	50	37	48	30	24	-	-	7,979
H29	24	25	27	21	12	15	24	38	25	45	27	18	27	19	24	25	64	32	73	53	50	31	48	36	30	-	-	1,081
H29	29	53	133	217	315	423	652	701	564	388	288	232	187	153	137	142	108	127	95	104	54	56	49	38	49	-	-	5,343

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	100	755	2756	1653	954	652	402	208	106	102	73	135	10	73	7,979
H30	8	51	294	225	157	131	83	45	19	21	14	26	0	7	1,081

(94) 伝染性紅斑

伝染性紅斑



伝染性紅斑 (50小児科定点)

定点からの年間報告数は2,345人であり、前年の約3.5倍と大幅に増加した。伝染性紅斑は、4～5年周期で流行するといわれており、平成23年、平成27年に続く大きな流行となり、報告数が高い水準で推移した。
年齢構成では、3～7歳の報告が約7割(66.7%)を占めた。

定点あたり 0.5未満 0.5～ 1.0～ 2.0～

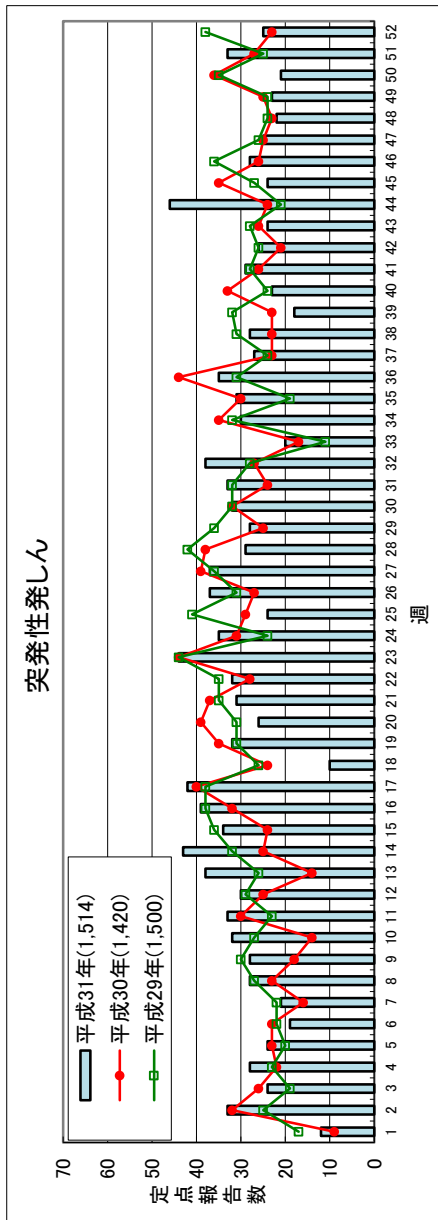
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	1	12	5	8	6	6	7	7	6	6	4	5	5	4	0	3	3	2	3	2	3	2	0	0	0	0	0	130
県北	3	4	4	5	8	1	4	2	6	3	5	5	5	2	5	9	4	3	5	2	6	7	7	7	8	5	9	209
郡山市	2	4	2	4	8	2	0	10	6	4	1	3	4	2	4	2	0	0	3	2	0	1	2	4	3	4	284	
県中	0	15	4	6	4	2	4	3	4	0	2	5	4	5	3	5	2	0	10	14	12	15	14	17	25	13	518	
県南	8	21	9	14	17	14	8	5	6	6	6	2	14	6	13	17	15	1	2	1	2	1	3	2	2	2	1	
県会	5	13	12	9	14	10	6	11	9	2	12	7	14	6	13	17	15	0	13	9	5	2	3	4	6	5	9	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
相双	1	4	2	2	3	3	2	1	1	1	4	2	1	1	3	0	1	0	1	1	2	2	1	0	2	3	4	
いわき市	6	7	12	8	5	10	6	3	8	1	6	5	3	8	6	11	7	8	14	13	16	16	14	13	15	16	23	
H31	26	80	50	56	65	48	37	42	46	23	40	34	37	29	39	49	32	14	51	44	47	47	44	42	54	59	63	
H30	3	4	5	10	13	6	3	7	6	6	5	5	4	4	6	8	10	1	7	6	5	6	3	2	6	9	4	
H29	20	16	25	17	11	9	11	10	8	14	12	5	4	15	11	7	7	4	9	9	7	14	4	3	8	7	8	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	4	8	4	0	2	1	1	0	3	1	1	1	130	
県北	12	10	15	6	3	1	2	0	1	2	3	1	5	1	1	5	1	0	2	1	1	1	1	0	0	0	209	
郡山市	9	6	15	4	2	1	0	2	3	4	4	9	6	3	7	12	11	8	12	10	14	6	18	18	21	21	284	
県中	17	17	16	11	11	3	8	9	12	9	4	11	12	5	5	8	12	8	19	11	25	34	17	17	15	15	518	
県南	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	4	4	157	
県会	2	3	5	1	1	0	0	0	1	1	0	1	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	255	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
相双	2	3	4	3	3	2	3	5	7	4	2	1	3	6	4	5	6	3	5	1	4	0	3	6	4	4	137	
いわき市	23	21	13	14	10	8	12	17	9	10	9	9	12	5	10	11	11	15	14	27	22	28	33	32	18	18	653	
H31	66	61	68	41	30	16	28	33	33	33	23	32	42	21	33	49	47	35	55	51	69	69	75	74	63	63	2,345	
H30	1	1	0	1	2	2	3	2	3	3	6	16	12	16	23	32	30	30	36	42	34	39	60	57	47	47	652	
H29	9	0	6	6	5	4	3	3	8	9	4	4	4	5	10	9	10	6	3	8	5	6	12	8	3	3	425	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	2	16	107	135	272	401	410	260	222	225	115	150	6	24	2,345
H30	2	10	38	51	80	104	108	77	67	41	28	43	0	3	652

(95) 突発性発しん



突発性発しん (50小児科定点)

定点からの年間報告数は1,514人であり、前年とほぼ同様の報告数となった。
年齢構成では、1歳以下の報告が約9割(90.3%)を占めた。

流行状況の表記はありません

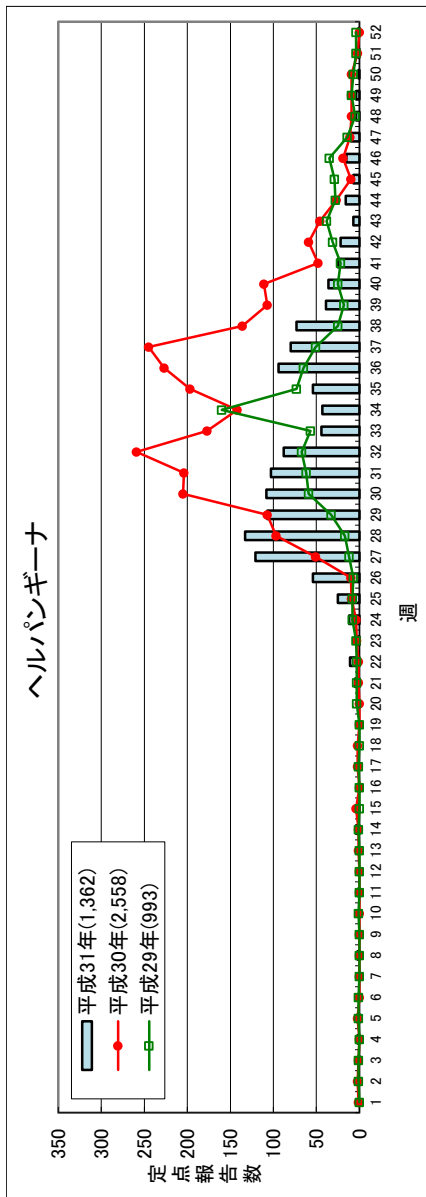
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	1	7	3	4	3	2	3	6	4	2	6	4	9	5	3	4	7	4	8	4	2	7	7	6	4	8	5
県北	1	7	4	3	1	4	5	3	5	6	4	7	3	4	5	5	4	3	2	2	6	3	6	7	4	5	6
郡山市	3	5	4	0	3	1	3	3	3	4	6	5	8	2	8	8	7	1	4	5	5	3	2	5	2	5	1
県中	0	3	4	6	5	0	5	8	3	6	4	1	4	8	5	8	8	0	4	5	4	4	7	5	2	4	8
県南	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	2	2	2	2	1	3	0	1	3	10	1	1	3	2
津会	0	2	0	2	2	2	1	0	1	5	1	5	0	7	1	3	1	0	0	0	0	2	2	1	2	3	2
津南	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	4	5	5	9	8	8	3	7	6	5	8	4	8	6	5	8	9	0	7	6	7	5	5	5	7	5	10
いわき市	2	3	6	3	1	2	2	1	5	3	4	4	5	9	5	4	4	1	3	4	6	5	5	5	2	4	3
H31	12	33	24	28	24	19	21	28	28	32	33	30	38	43	34	39	42	10	32	26	31	32	44	35	24	37	37
H30	9	32	26	22	23	23	16	23	18	14	30	25	14	25	24	32	40	24	35	39	37	28	44	31	29	27	39
H29	17	25	19	23	20	22	22	27	30	27	23	29	26	32	36	38	38	26	31	31	35	35	44	24	41	31	36
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
福島市	3	2	5	1	6	5	3	4	4	5	5	2	0	5	3	1	4	0	7	7	0	2	3	6	4	-	215
県北	4	0	4	6	2	5	9	3	3	3	5	1	7	3	1	3	8	4	3	3	4	5	3	6	6	-	214
郡山市	6	2	5	3	7	1	2	6	6	3	3	5	2	4	5	4	7	1	3	2	5	3	3	5	1	-	196
県中	3	4	4	7	1	1	4	3	11	2	1	2	3	5	2	3	5	4	4	5	2	5	3	1	4	-	210
県南	0	2	1	0	1	2	0	2	2	1	2	0	1	3	2	0	2	2	3	0	2	0	0	0	0	-	68
津会	2	0	1	7	2	2	5	2	1	3	5	1	1	0	2	0	4	4	1	2	2	0	0	1	1	-	97
津南	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	4
相双	7	14	9	6	14	0	5	7	7	7	5	7	5	4	7	3	11	6	6	4	5	6	3	7	7	-	327
いわき市	4	4	3	3	5	4	2	4	1	3	2	0	4	5	4	6	5	3	1	2	2	2	2	5	6	-	183
H31	29	28	32	33	38	20	30	31	35	27	28	18	23	29	26	24	46	24	28	25	22	23	21	33	25	-	1,514
H30	38	25	32	24	27	17	35	30	44	23	23	23	33	26	21	26	24	35	26	25	23	25	36	27	23	-	1,420
H29	42	36	32	32	28	11	32	19	31	24	31	32	24	28	26	28	21	27	36	26	24	24	35	25	38	-	1,500

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	23	492	852	107	21	12	5	1	0	0	0	0	0	1	1,514
H30	24	465	809	95	21	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1,420

(96) ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナ (50小児科定点)

定点からの年間報告数は1,362人であり、前年に比べ半減した。6月下旬から増加傾向がみられ、第25週(6月17日～6月23日)から第41週(10月7日～10月13日)にかけて緩やかな山型の流行曲線を描いた。
年齢構成では、1～3歳の報告が約6割(57.6%)を占めた。

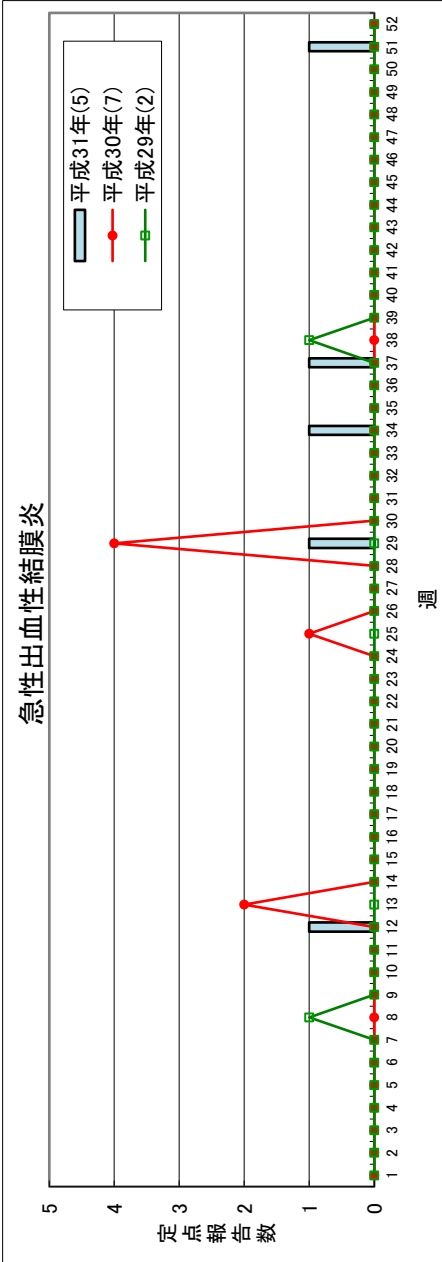
定数あたり 0.5未満 0.5～ 2.0～ 6.0～

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	10	30	142
県北	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4	16	50	304
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	5	8	8	0	1	209
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169
H31	0	0	1	2	2	0	0	2	0	0	1	0	0	4	1	1	0	0	0	0	5	11	4	12	25	54	121	
H30	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0	2	2	0	0	1	1	3	4	9	10	51	
H29	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	3	3	4	8	7	12		
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w		
福島市	32	12	7	14	12	0	4	2	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	142	
県北	41	32	37	25	17	5	8	11	11	15	7	5	0	1	1	3	0	0	0	4	2	1	1	2	0	-	304	
郡山市	5	5	14	10	18	7	6	17	22	19	21	8	7	4	5	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	-	209	
県中	1	0	5	4	4	6	0	3	5	11	10	3	2	2	2	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	-	65	
県南	20	13	10	9	7	4	8	5	8	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	102	
会津	14	23	8	14	11	5	6	2	10	3	2	0	0	0	0	2	8	4	7	6	1	1	0	0	0	-	137	
南会津	0	2	8	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	15	
相双	13	14	15	17	7	10	7	6	23	16	20	13	10	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	-	219	
いわき市	7	6	4	8	11	6	4	8	13	11	12	6	16	12	12	2	7	0	2	0	0	0	0	0	0	-	169	
H31	133	107	108	103	88	44	43	54	94	80	73	39	36	25	22	7	16	7	15	10	4	4	1	2	1	-	1,362	
H30	97	107	205	204	259	177	142	197	227	245	136	107	111	48	59	46	27	10	19	11	9	9	9	2	0	-	2,558	
H29	17	33	59	62	67	57	160	73	65	51	25	18	25	22	31	38	28	29	35	14	5	9	7	4	4	-	993	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H31	13	114	345	241	199	157	121	71	28	26	15	28	2	2	1,362
H30	16	241	777	528	341	241	166	98	49	34	16	42	5	4	2,558

(99) 急性出血性結膜炎



急性出血性結膜炎 (13眼科定点)

定点からの年間報告数は5人であり、福島市、県南、会津からの報告であった。

定点あたり 1.0未満 1.0～

平成31年 報告数

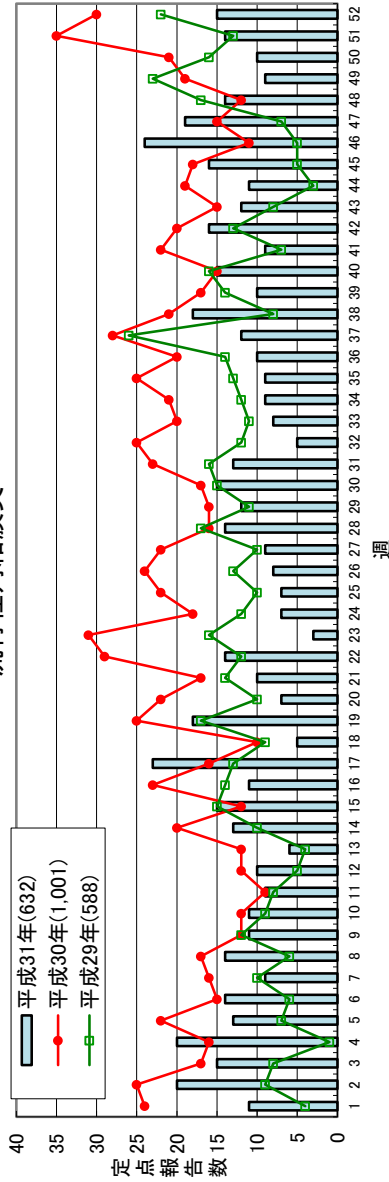
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計		
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
双葉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H29	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	2		
福島市	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

	～5ヶ月	～1ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計
H31	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	7

(100) 流行性角結膜炎

流行性角結膜炎



流行性角結膜炎 (13眼科定定点)

定定点からの年間報告数は632人であり、前年の約6割に減少した。県南では継続した流行がみられた。年齢構成では、20歳以上の報告が約7割(65.5%)を占めた。

定 点 報 告 数
 2.0未満 2.0～ 4.0～ 8.0～

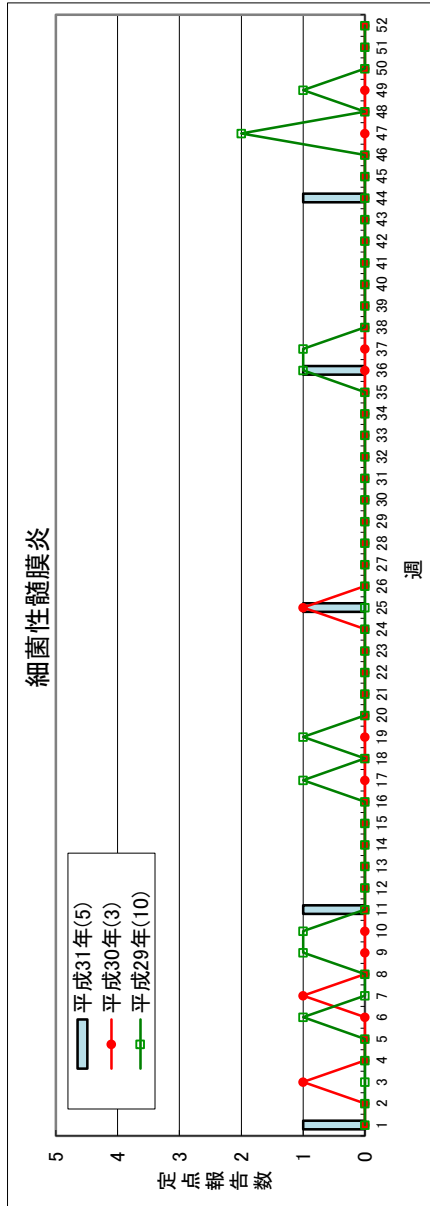
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計
福島市	4	5	1	3	2	5	0	5	2	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	1	1	5	1	0	0	0	0	79
県北	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0	0	3	0	4	2	1	7	0	2	0	1	1	0	0	3	1	88	
郡山市	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
県中	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
県南	1	3	2	3	3	0	0	3	3	2	2	3	1	6	4	4	6	4	11	2	3	2	0	0	1	1	2	4
津会	2	5	9	13	7	7	8	5	4	9	5	1	2	2	6	5	5	0	3	2	4	6	1	6	3	5	4	6
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相双	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	11	20	15	20	13	14	9	14	11	11	9	10	6	13	15	11	23	5	18	7	10	14	3	7	7	8	9	
H30	24	25	17	16	22	15	16	17	12	12	9	12	12	20	12	23	16	10	25	22	17	29	31	18	22	24	22	
H29	4	9	8	1	7	6	10	6	12	9	8	5	4	10	15	14	13	9	17	10	14	12	16	12	10	13	10	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	1	1	1	0	1	0	2	3	5	4	0	4	2	2	2	1	1	4	0	0	2	1	2	0	0	79	
県北	3	0	3	3	3	1	5	0	1	1	4	2	0	1	6	1	0	4	4	1	1	1	1	0	1	1	88	
郡山市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
県中	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
県南	4	6	5	1	0	0	1	3	3	1	1	2	0	2	1	1	6	3	12	7	8	3	5	4	8	159		
津会	4	5	4	4	1	5	2	3	1	4	2	3	9	3	5	4	2	6	4	7	4	2	2	8	4	226		
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	12	
いわき市	3	0	2	2	0	0	1	0	1	1	5	0	1	0	2	4	1	1	0	3	1	1	1	0	0	0	41	
H31	14	12	15	13	5	8	9	9	10	12	18	10	15	9	16	12	11	16	24	19	14	9	10	14	15	15	632	
H30	16	16	17	23	25	20	21	25	20	28	21	17	15	22	20	15	19	18	11	15	12	19	21	35	30	1,001		
H29	17	11	15	16	12	11	12	13	14	26	8	14	16	7	13	8	3	5	5	7	17	23	16	13	22	588		

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計
H31	9	2	29	24	23	24	23	14	11	7	5	26	21	69	124	88	49	54	30	632
H30	19	6	53	50	54	40	34	18	22	8	10	34	24	90	211	116	78	88	46	1,001

(106)細菌性髄膜炎



細菌性髄膜炎 (7基準定点)

定点からの年間報告数は5人であった。

県全体で 1人未満 1人 2~4人 5人以上

平成31年 報告数

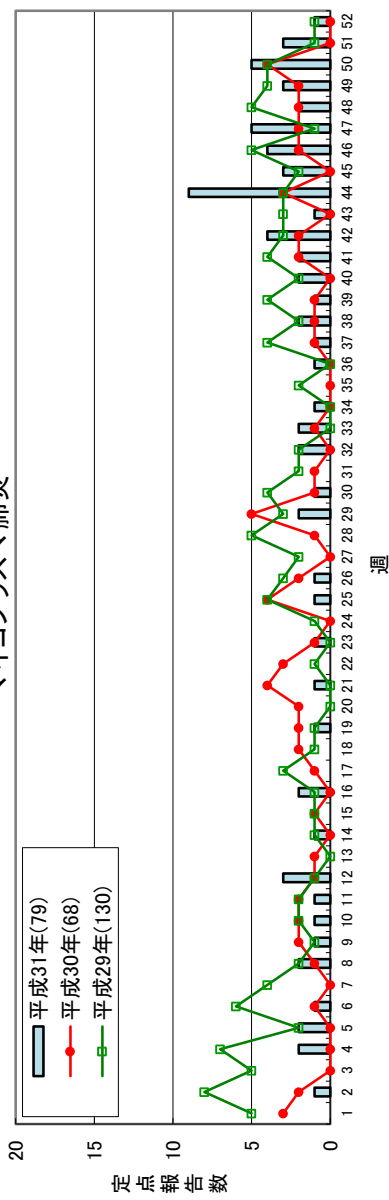
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	合計		
福島市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会津若狭市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H31	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H30	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津若狭市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	合計	
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
H30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(108) マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎



マイコプラズマ肺炎 (7基準定 点)

定 点 からの 年 間 報 告 数 は 79 人 で あ っ た 。 福 島 市 からの 報 告 が 多 っ た 。
年 齢 構 成 で は 、 14 歳 以 下 の 報 告 が 約 7 割 (69.6%) を 占 め た 。

定 点 あ た り 1.5 未 満 1.5 ~ 2.1 ~ 3.1 ~

平 成 31 年 報 告 数

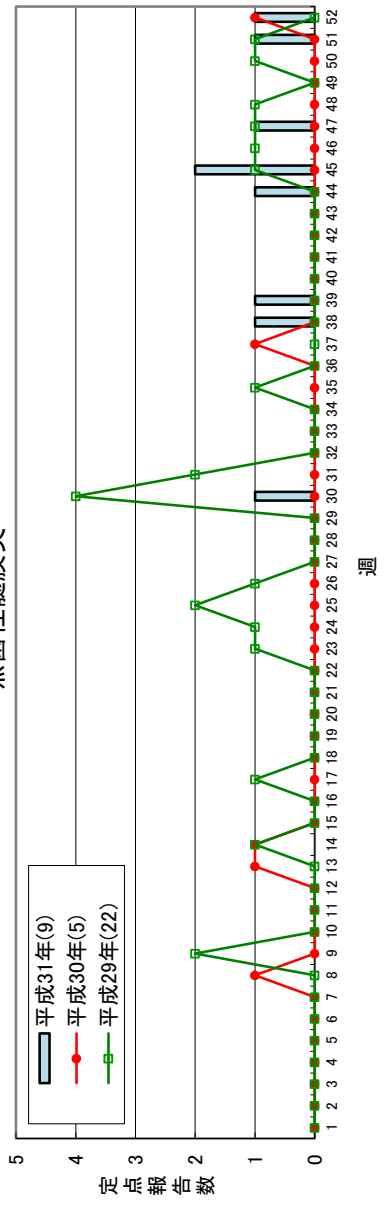
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w		
福 島 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
北 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津 南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津 南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相 双 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
い わ ぎ 市	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	1	0	2	2	1	0	2	1	1	1	3	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
H30	3	2	0	0	1	0	1	1	2	2	2	1	1	0	1	0	1	2	2	4	3	1	0	1	0	4	2	0	0
H29	5	8	5	7	2	6	4	2	1	2	2	1	0	1	1	1	3	1	1	0	0	1	0	1	4	3	2	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計		
福 島 市	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	5	2	4	3	0	2	4	3	1	-	37		
北 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
中 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
津 南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
津 南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
相 双 郡 山 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
い わ ぎ 市	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15		
H31	0	2	1	0	2	1	0	0	1	1	2	1	2	2	4	1	9	3	4	5	2	3	5	3	1	-	79		
H30	1	5	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	2	0	3	0	2	2	2	2	4	0	0	-	68		
H29	5	3	4	2	2	0	0	2	0	4	2	4	2	4	3	3	3	2	5	1	5	4	4	1	1	-	130		

年 齢 構 成

年 齢 構 成	~0 歳	~4 歳	~9 歳	~14 歳	~19 歳	~24 歳	~29 歳	~34 歳	~39 歳	~44 歳	~49 歳	~54 歳	~59 歳	~64 歳	~69 歳	70 歳 ~	合 計
H31	0	16	28	11	3	5	0	5	2	3	0	0	0	1	3	2	79
H30	3	26	21	5	7	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1	68

(109) 無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は9人であった。

県全体で 1人以下 1地域2人 2地域又は3地域以上 3地域以上

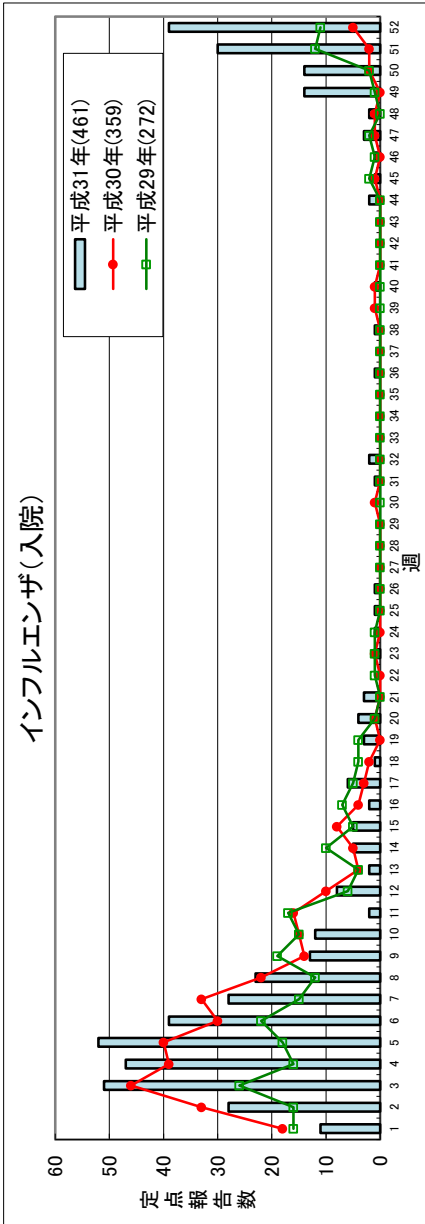
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w				
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計				
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	-	4				
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
郡山市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5				
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
H31	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	1	-	9				
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5				
H29	0	0	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	22				

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H31	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	2	9
H30	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	5

(98) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)(入院)



インフルエンザ(入院) (7基準定数)

定数からの年間報告数は461人であり、前年よりやや増加した。インフルエンザ報告数とほぼ同時期の第5週(1月28日～2月3日)にピークを迎えた。
年齢構成では、80歳以上の報告が約3割(29.7%)を占めた。

流行状況の表記はありません

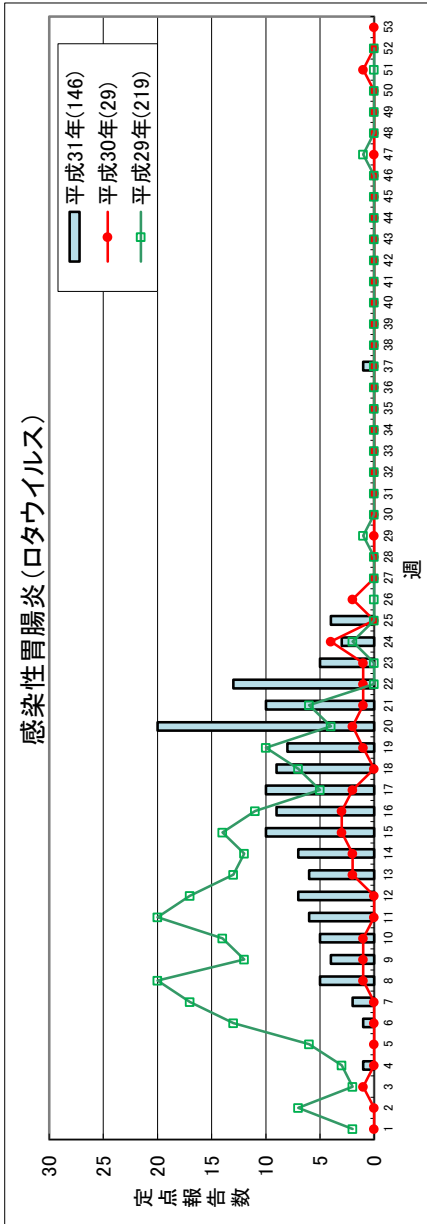
平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	1	3	3	10	13	4	3	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
郡山市	1	3	12	11	9	8	7	2	2	6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	2	2	3	8	8	6	7	6	4	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模	1	8	13	6	12	11	4	9	3	2	1	6	1	2	3	0	1	0	1	3	2	0	1	1	1	0	0
いわき市	0	1	4	1	5	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
H31	5	7	9	10	4	5	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	11	28	51	47	52	39	28	23	13	12	2	8	2	5	5	2	6	1	3	4	3	0	1	1	1	1	0
H29	18	33	46	39	40	30	33	22	14	15	16	10	4	5	8	4	3	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
H28	16	16	26	16	18	22	15	12	19	15	17	6	4	10	5	7	5	4	4	1	0	1	1	1	0	0	0
福島市	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	3	2	14	14	30	39	46	
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	5	5	359	
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	1	2	12	11	272	
合計	56	83	73	131	28	20	70	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

年齢構成

年齢	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~	合計
H31	24	11	29	18	17	18	11	16	11	19	9	33	5	4	7	3	10	29	50	137	461
H30	8	8	22	14	8	17	5	11	7	3	4	21	4	3	4	7	13	33	50	117	359

(91) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



感染性胃腸炎(ロタウイルス)(7基幹定点)

定点からの年間報告数は146人であり、前年の約5倍に増加した。
年齢構成では、1～4歳の報告が最も多く、約6割(59.6%)を占めた。

流行状況の表記はありません

平成31年 報告数

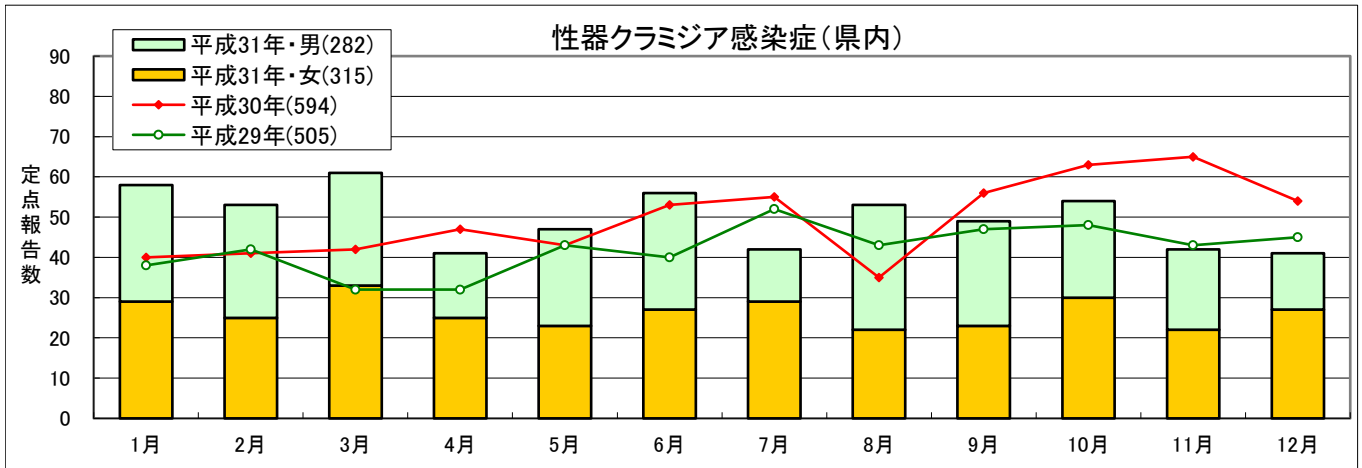
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	2	2	1	3	0	0
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	1	1	3	3	6	6	0	2	0	1	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	1	0	1	2	5	4	5	6	7	6	7	10	9	10	8	20	20	10	13	5	3	4	0	0
H30	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	2	2	2	3	3	2	0	1	2	1	1	1	4	0	2	0
H29	2	7	2	3	6	13	17	20	12	14	20	17	13	12	14	11	5	7	10	4	6	0	0	2	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	29
H29	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	219

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H31	16	87	39	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	146
H30	2	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29

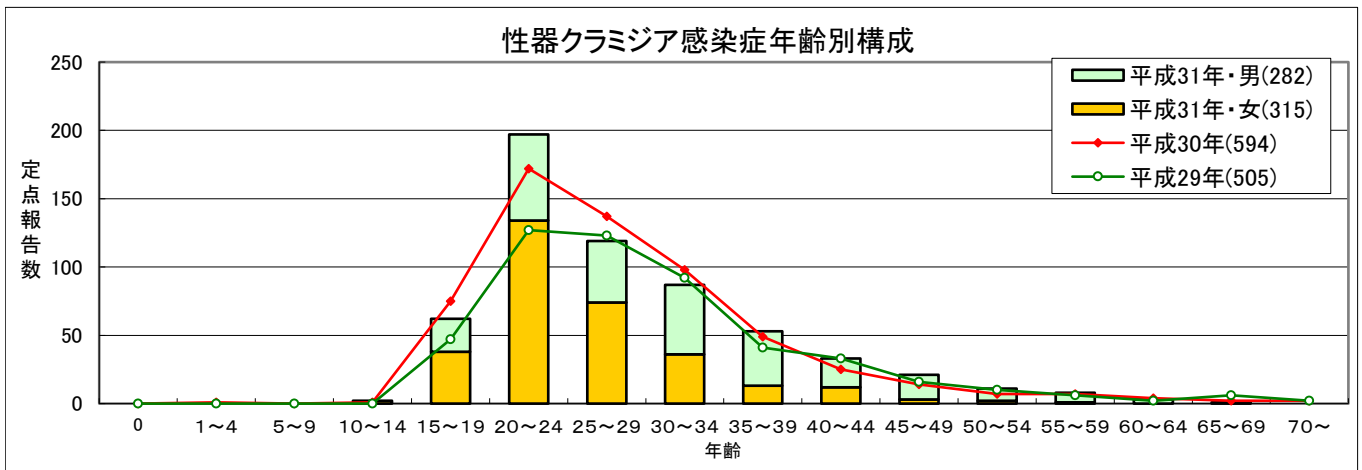
(101)性器クラミジア感染症 (17STD定点)

定点からの年間報告数は597人(男282人、女315人)であり、男20～24歳、女20～29歳の報告が多かった。また、全国との年齢構成の比較では、全国とほぼ同様であった。

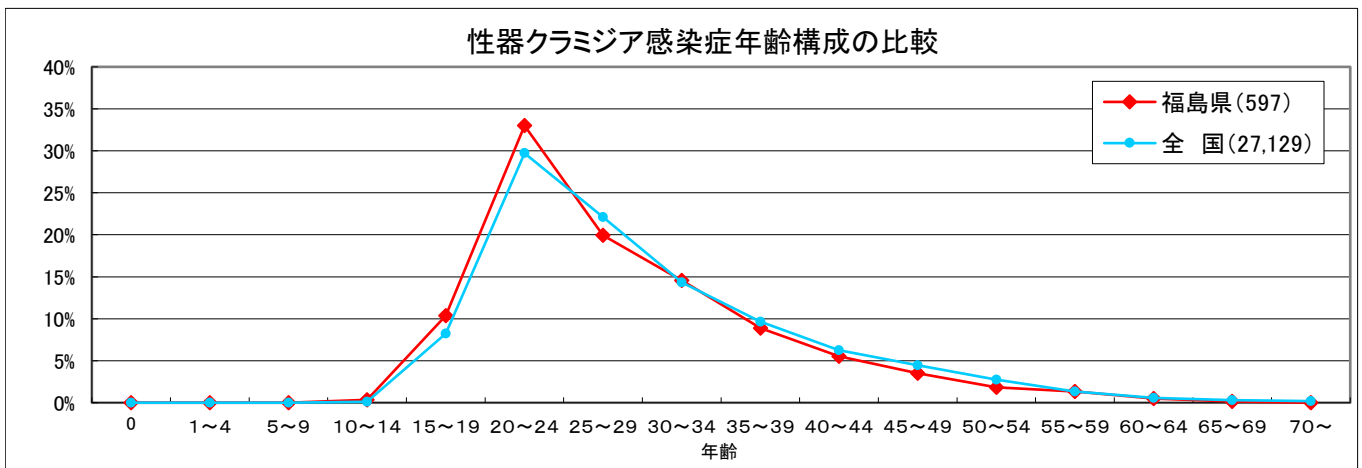


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年・男(282)	29	28	28	16	24	29	13	31	26	24	20	14	282
平成31年・女(315)	29	25	33	25	23	27	29	22	23	30	22	27	315
平成31年(597)	58	53	61	41	47	56	42	53	49	54	42	41	597
平成30年(594)	40	41	42	47	43	53	55	35	56	63	65	54	594
平成29年(505)	38	42	32	32	43	40	52	43	47	48	43	45	505

平成29～31年 県内の年齢別構成

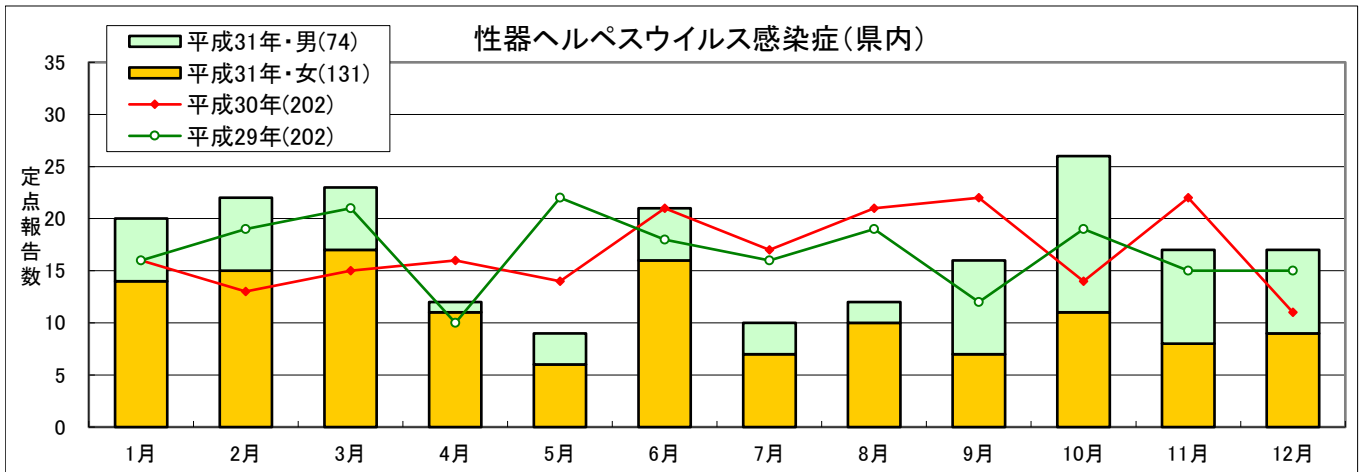


平成31年 年齢別構成の比較



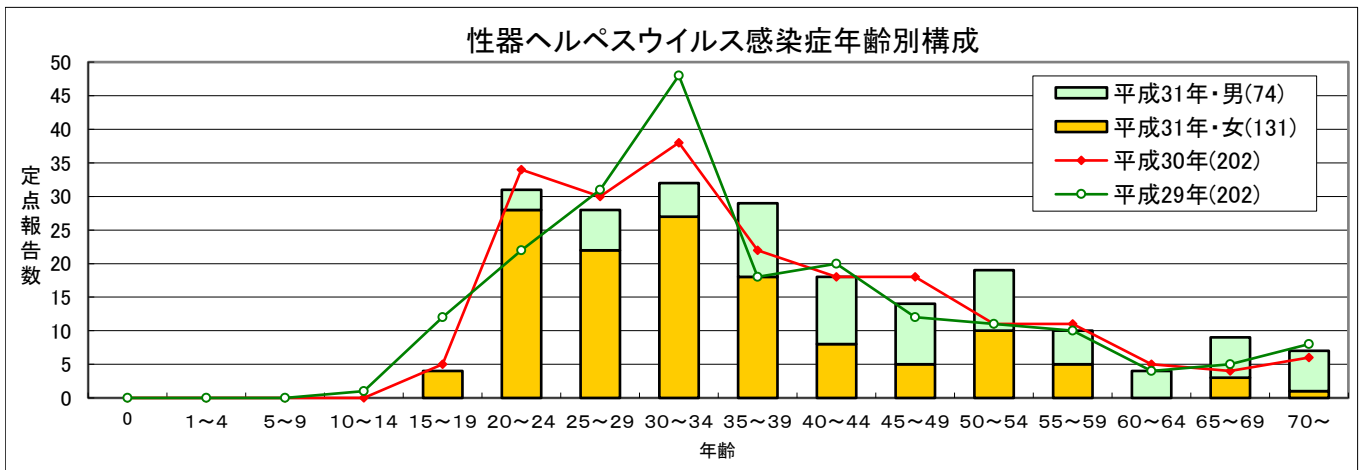
(102)性器ヘルペスウイルス感染症 (17STD定点)

定点からの年間報告数は205人(男74人、女131人)であり、女20～34歳の報告が多かった。また、全国との年齢別構成の比較では、20～24歳、35～39歳の患者の占める割合がやや高かった。

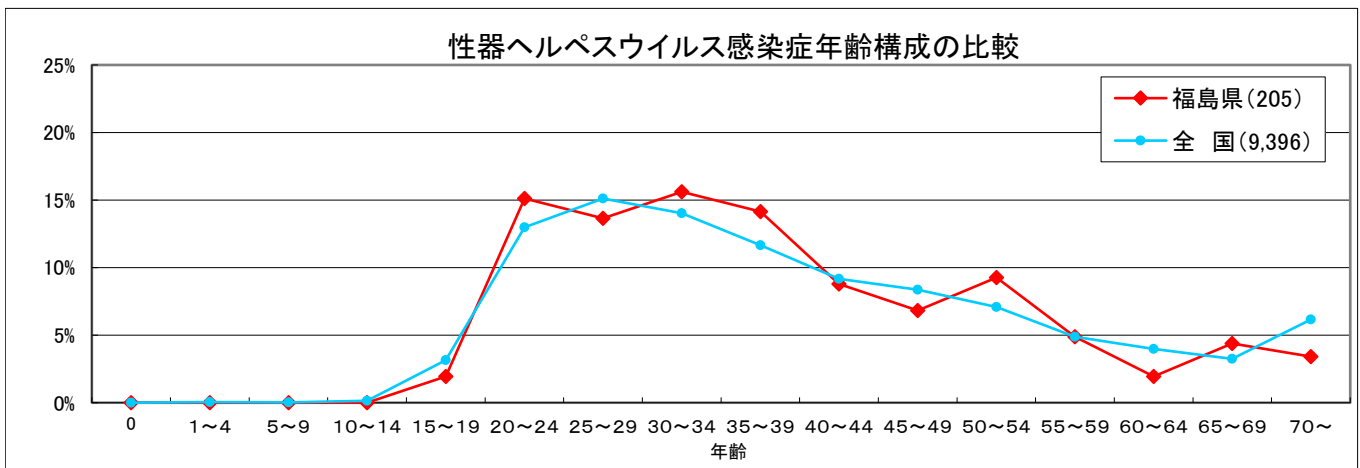


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年・男(74)	6	7	6	1	3	5	3	2	9	15	9	8	74
平成31年・女(131)	14	15	17	11	6	16	7	10	7	11	8	9	131
平成31年(205)	20	22	23	12	9	21	10	12	16	26	17	17	205
平成30年(202)	16	13	15	16	14	21	17	21	22	14	22	11	202
平成29年(202)	16	19	21	10	22	18	16	19	12	19	15	15	202

平成29～31年 県内の年齢別構成

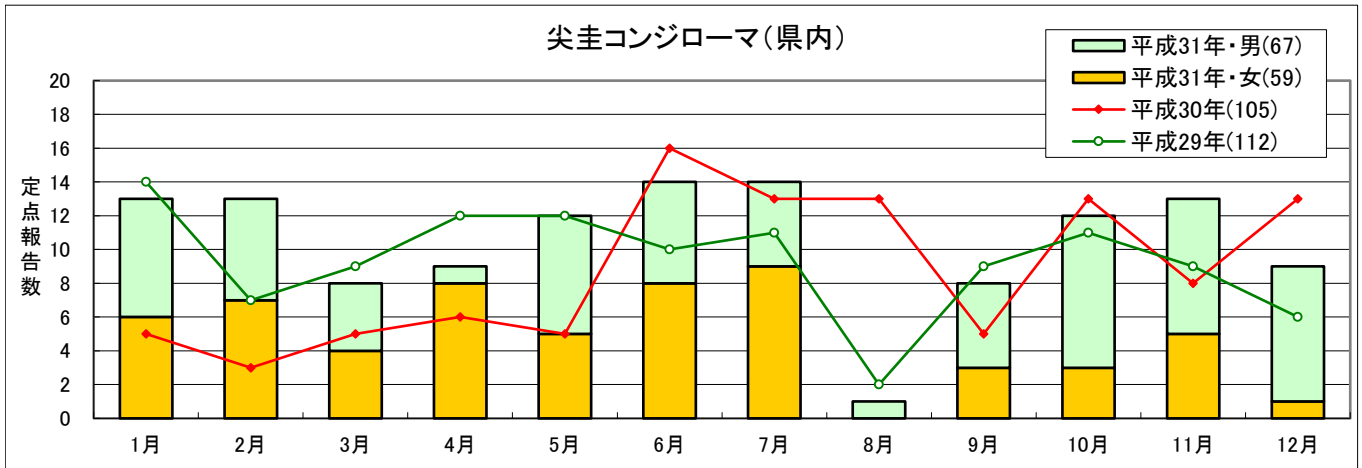


平成31年 年齢別構成の比較



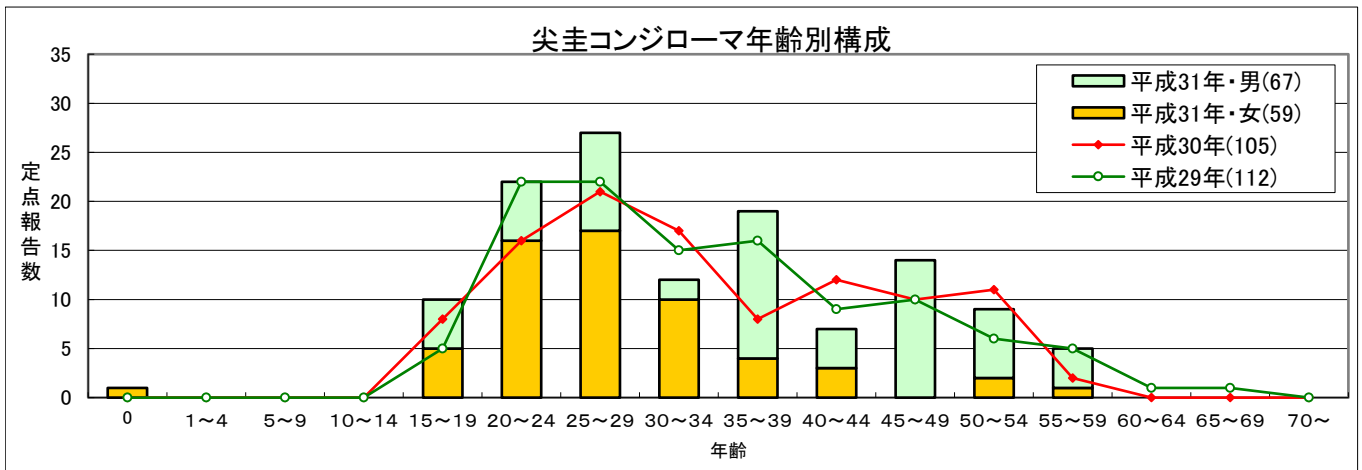
(103)尖圭コンジローマ（17STD定点）

定点からの年間報告数は126人（男67人、女59人）であり、男35～39歳及び45～49歳、女20～29歳の報告が多かった。また、全国との年齢構成の比較では、15～19歳、35～39歳の患者の占める割合が高かった。

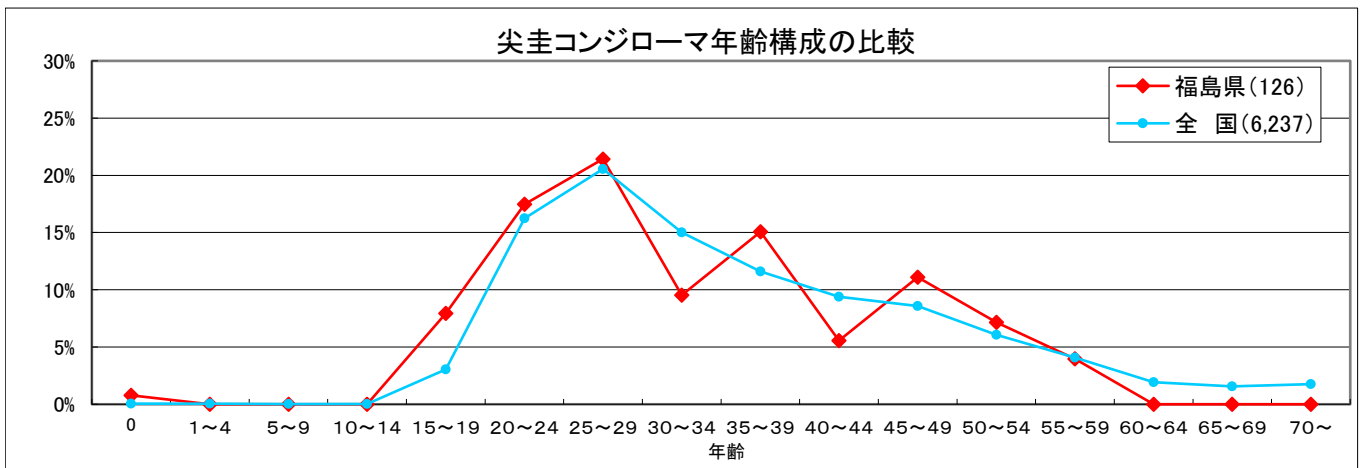


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年・男(67)	7	6	4	1	7	6	5	1	5	9	8	8	67
平成31年・女(59)	6	7	4	8	5	8	9	0	3	3	5	1	59
平成31年(126)	13	13	8	9	12	14	14	1	8	12	13	9	126
平成30年(105)	5	3	5	6	5	16	13	13	5	13	8	13	105
平成29年(112)	14	7	9	12	12	10	11	2	9	11	9	6	112

平成29～31年 県内の年齢別構成

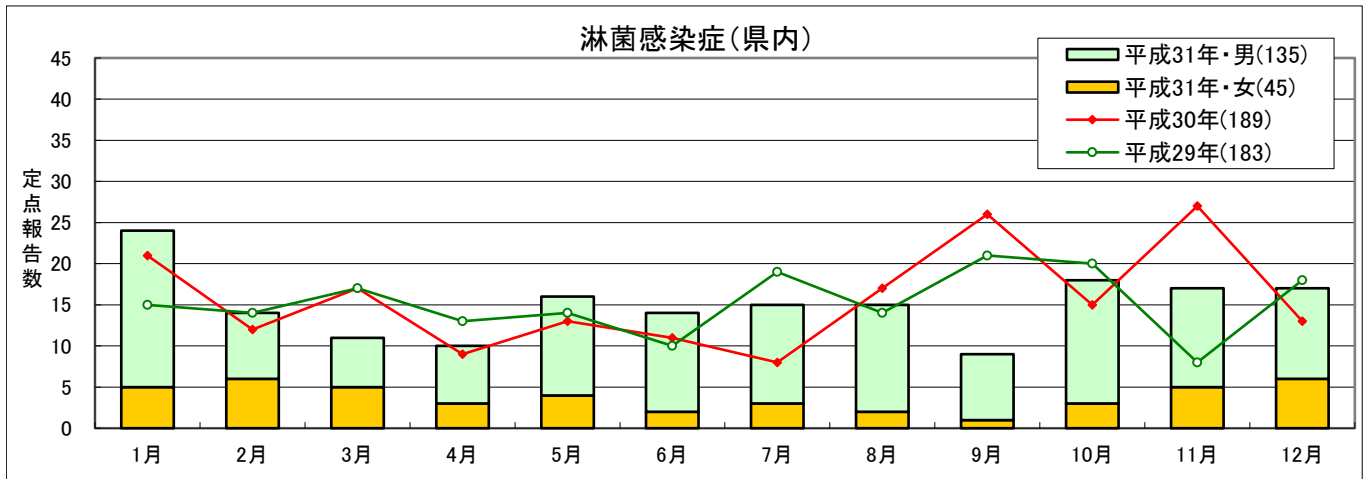


平成31年 年齢別構成の比較



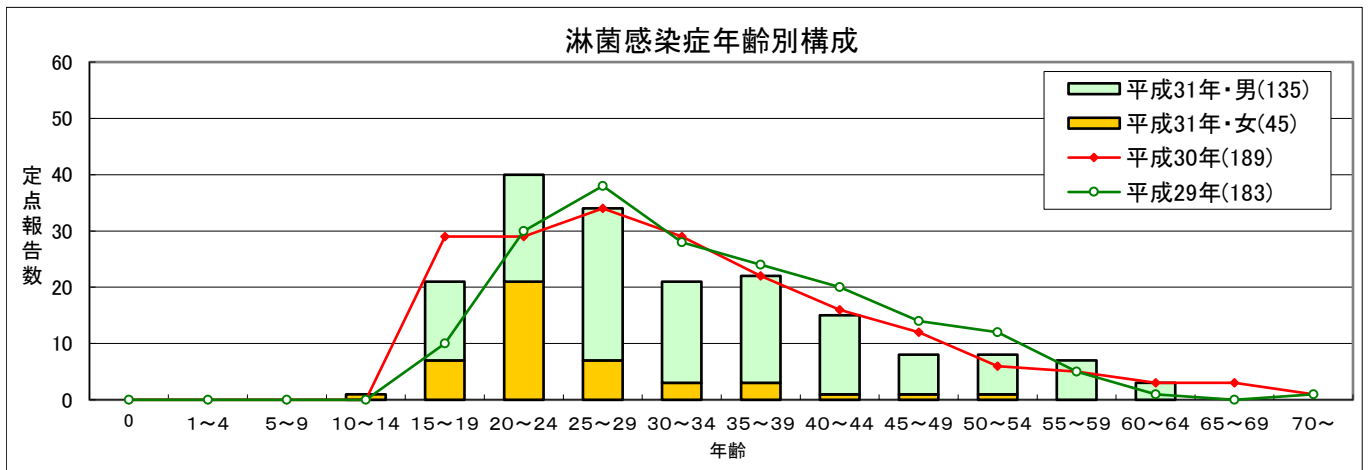
(104) 淋菌感染症 (17STD定点)

定点からの年間報告数は180人(男135人、女45人)であり、男20～29歳の報告が多かった。また、全国との年齢構成の比較では、15～19歳の患者の占める割合が高かった。

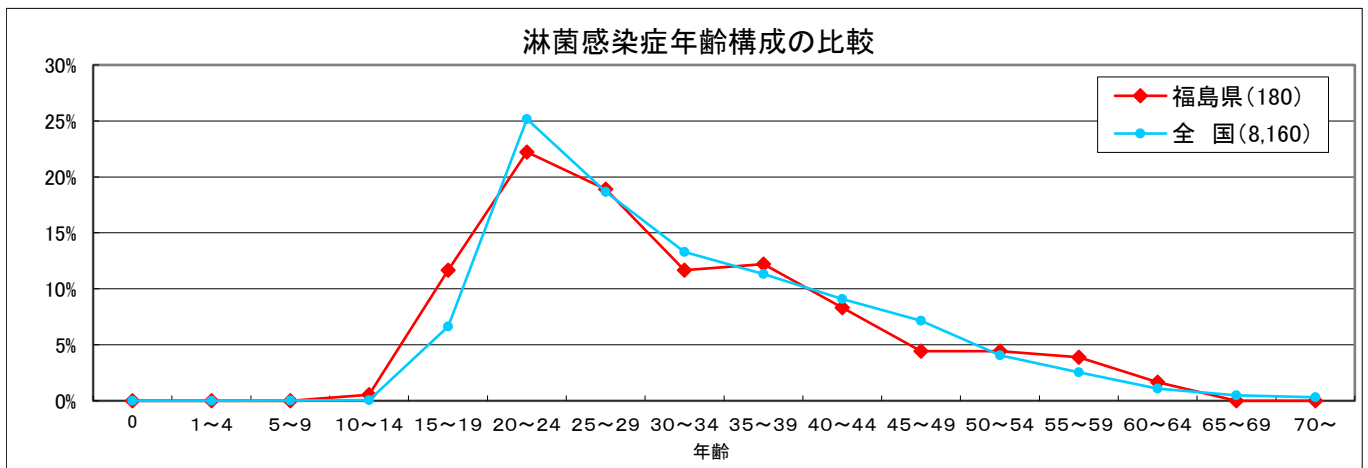


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年・男(135)	19	8	6	7	12	12	12	13	8	15	12	11	135
平成31年・女(45)	5	6	5	3	4	2	3	2	1	3	5	6	45
平成31年(180)	24	14	11	10	16	14	15	15	9	18	17	17	180
平成30年(189)	21	12	17	9	13	11	8	17	26	15	27	13	189
平成29年(183)	15	14	17	13	14	10	19	14	21	20	8	18	183

平成29～31年 県内の年齢別構成

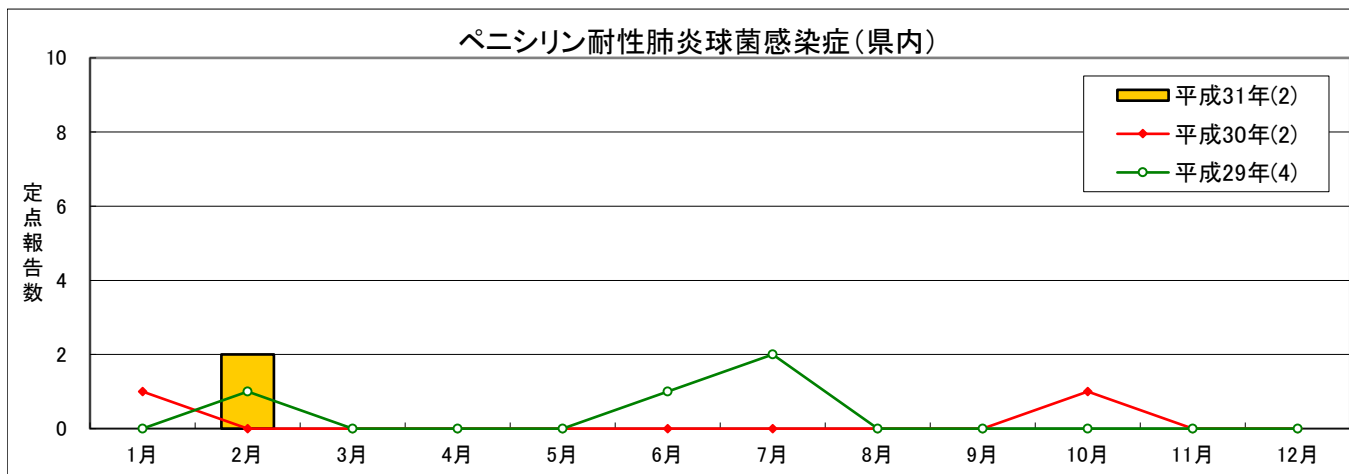


平成31年 年齢別構成の比較



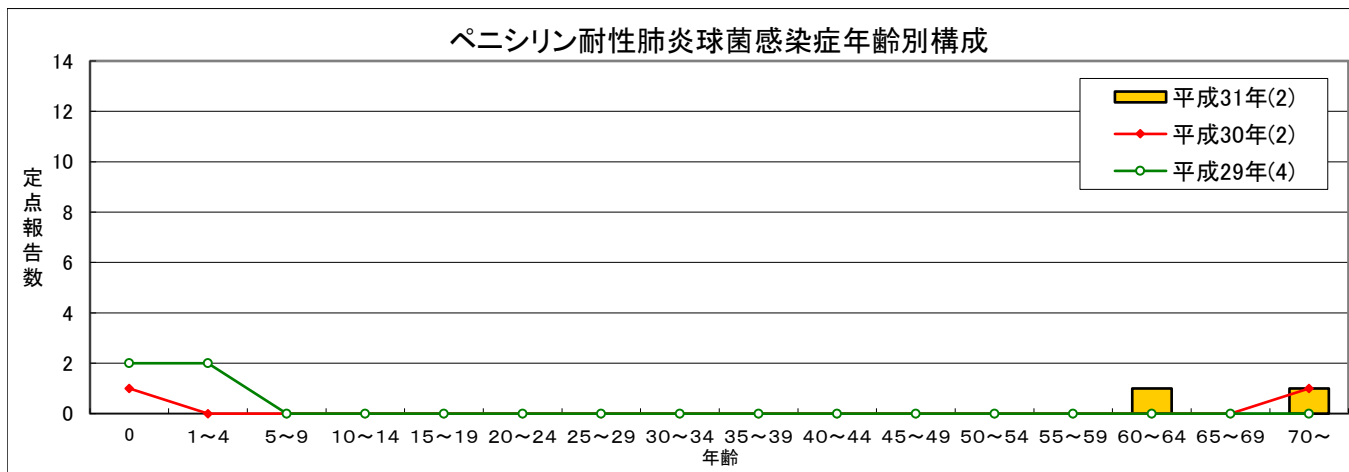
(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は2人であった。

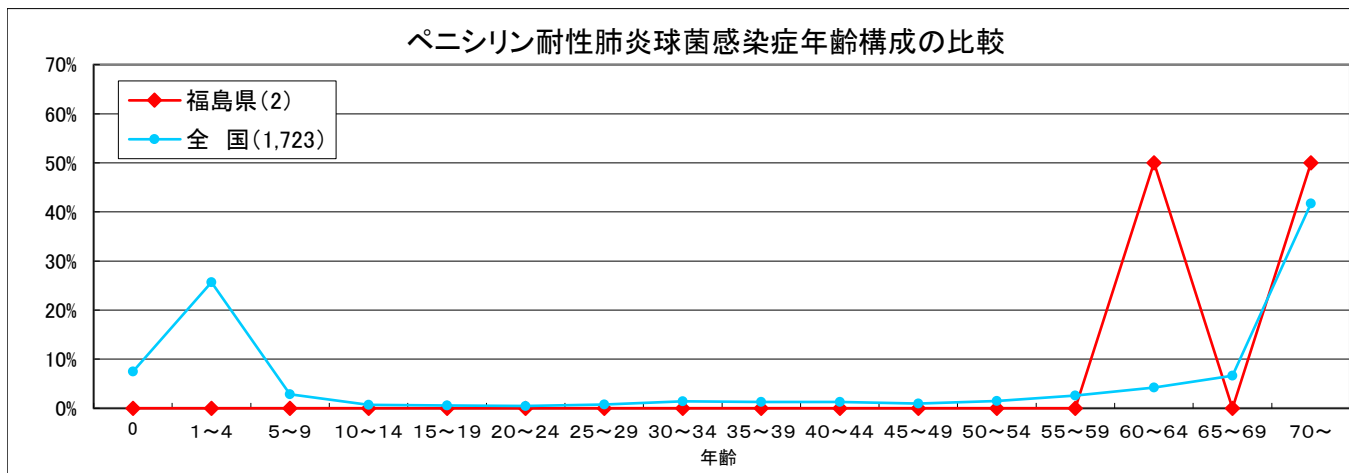


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年(2)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
平成30年(2)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
平成29年(4)	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4

平成29～31年 県内の年齢別構成

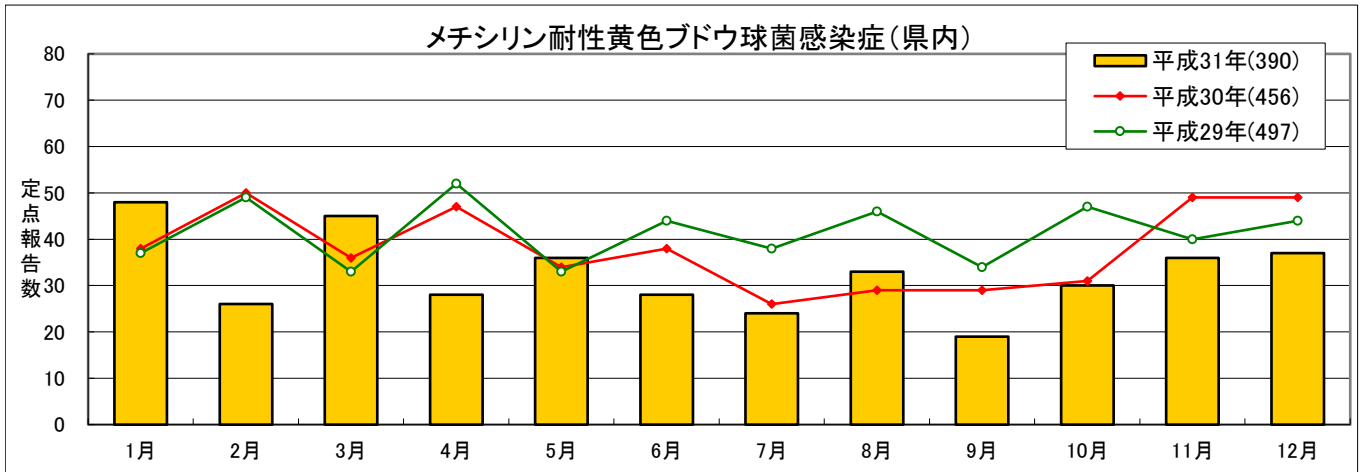


平成31年 年齢別構成の比較



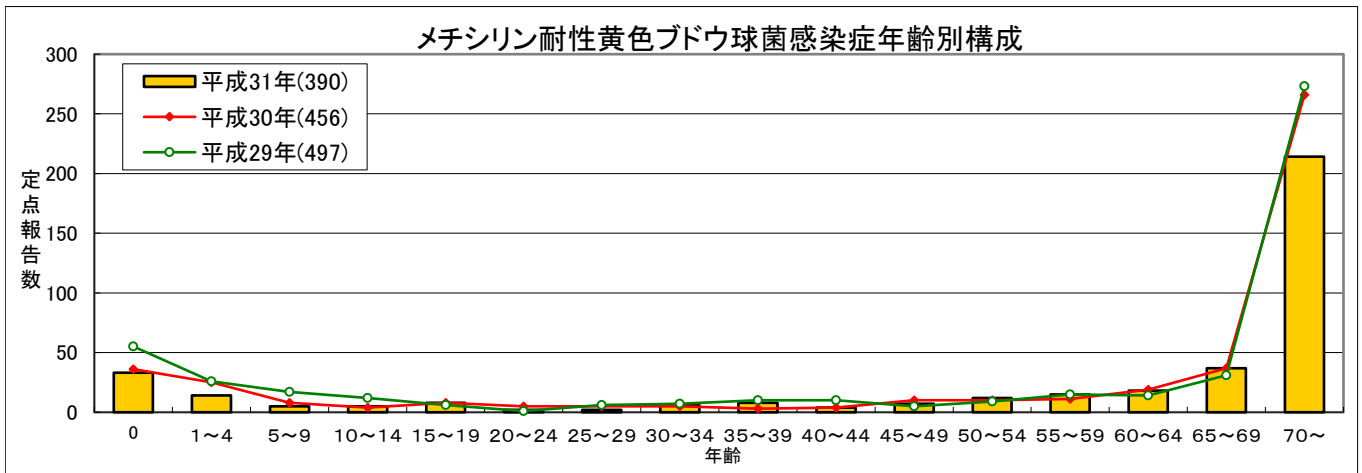
(110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は390人であり、70歳以上の報告が多かった。

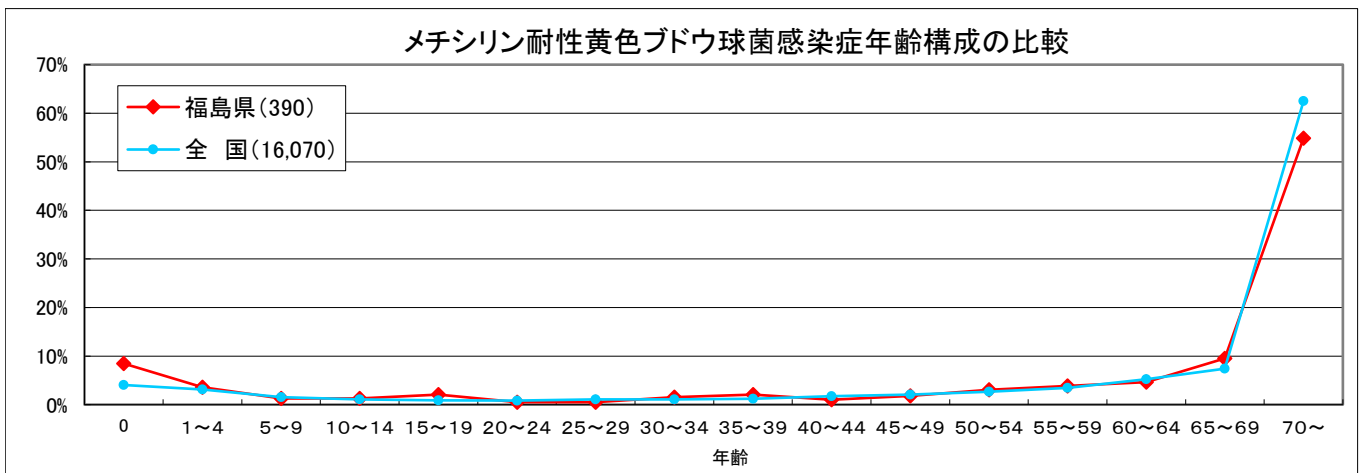


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年(390)	48	26	45	28	36	28	24	33	19	30	36	37	390
平成30年(456)	38	50	36	47	34	38	26	29	29	31	49	49	456
平成29年(497)	37	49	33	52	33	44	38	46	34	47	40	44	497

平成29～31年 県内の年齢別構成

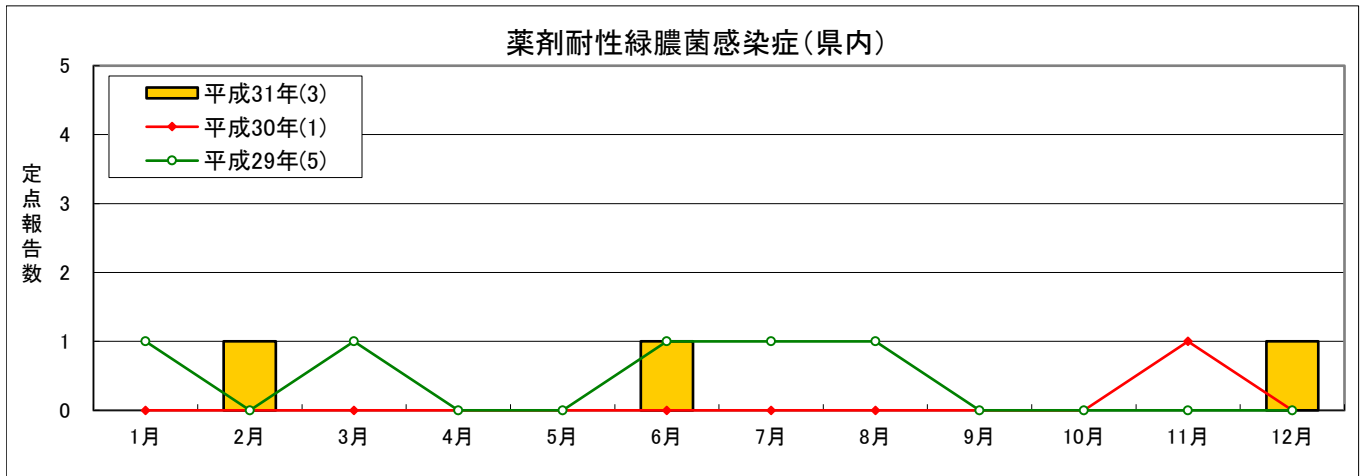


平成31年 年齢別構成の比較



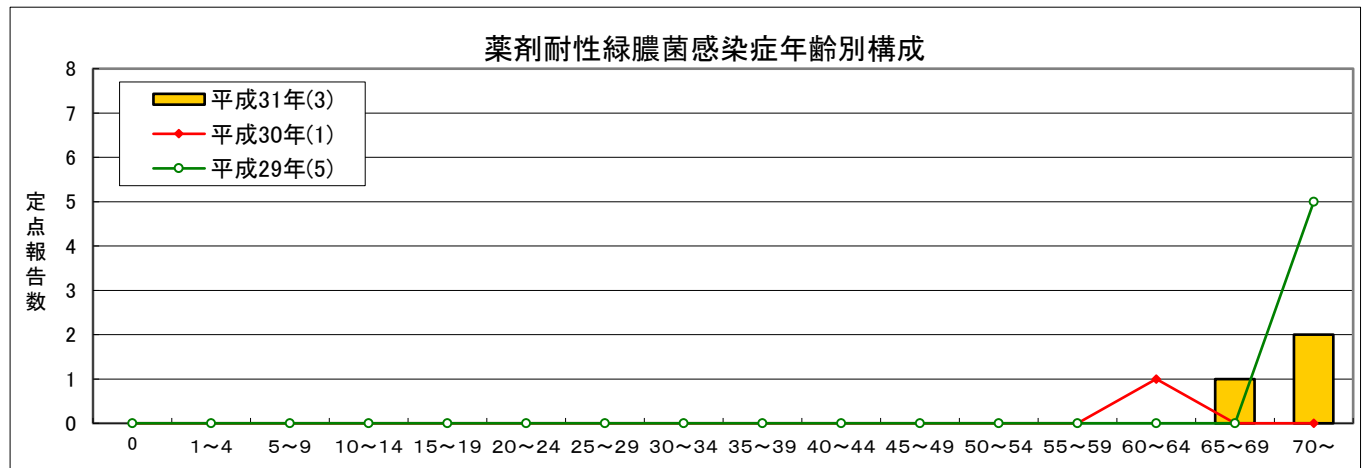
(111)薬剤耐性緑膿菌感染症 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は3人であった。

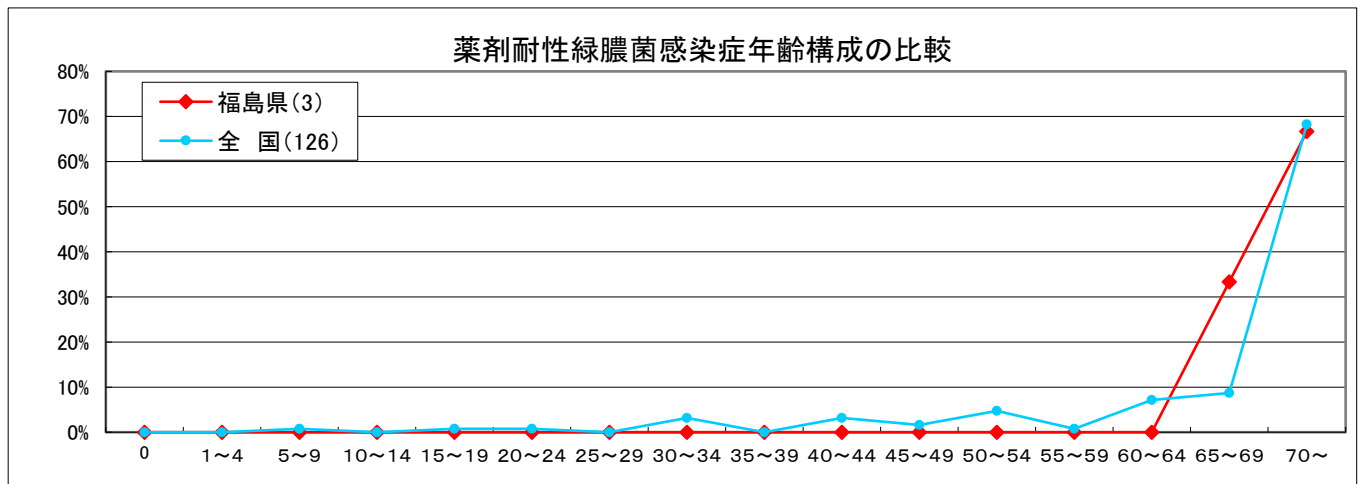


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成31年(3)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
平成30年(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
平成29年(5)	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5

平成29～31年 県内の年齢別構成



平成31年 年齢別構成の比較



(4) 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告

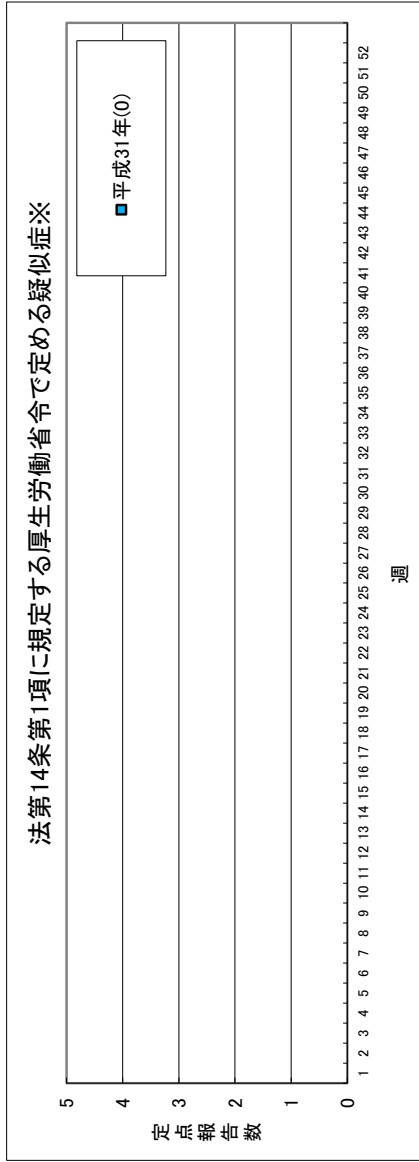
● 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患（定点把握）

(114) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの

● 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患（定点把握）
患者地域別定点機関数

福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
2	1	2	1	1	3	0	0	1	11

(114) 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症



法第14条第1項に規定する
厚生労働省令で定める疑似症※ (11疑似症定点)
定点からの報告はなかった。

※ 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものの。

平成31年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

Ⅲ 検 査 情 報

(1) 2019年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）

(2) 2019年感染症発生動向調査事業報告（細菌）

(1) 2019年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス検出報告）

村山裕馬 齋藤望 村上利佳子 津久井れい 寺島祐司 熊田裕子¹⁾ 金成篤子
微生物課 ¹⁾ 県中支所

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では2019年のウイルス検出結果について報告する。

材 料

2019年1月から12月までの間に、県内の基幹定点7機関、インフルエンザ定点5機関、小児科定点6機関、眼科定点1機関より搬入された咽頭拭い液、糞便、髄液、結膜拭い液等、計887検体を対象とした。

方 法

RD-A, A549, Vero, LLC-MK2, MDCK, の5種類の細胞を用いてウイルス分離を実施した。分離ウイルスの同定には、抗血清を用いた中和試験又は遺伝子検査を行った。遺伝子検査は診断名や症状、検査材料に応じて、ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス、インフルエンザウイルス、エンテロウイルス、ライノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、ヘルペスウイルス、パルボウイ

ルス等のウイルスについて遺伝子検索を行った。

結 果

1 保健所別ごとの検体数

各地区からの月別検体数を表1に示す。

2016年度より検体採取数について感染症発生動向調査事業実施要綱に規定され、小児科定点については月4検体、インフルエンザ定点については流行期には週1検体、非流行期には月1検体となった。県中、県南、会津及び南会津以外の保健所からは毎月検体搬入があり、県北、相双及び郡山市では規定よりもかなり多く検体が搬入された。

2 検体種類別検出状況

検体種類別ウイルス検出状況を表2に示す。搬入検体は咽頭拭い液、だ液、鼻汁（以下、“咽頭”とする）が487検体で最も多く54.9%、次いで糞便が326検体で36.8%を占めた。検出率は、結膜で100%と全ての検体からウイルスが検出され、咽頭及び糞便で50%を超えたが、髄液は6.7%と一番低かった。全体では887検体のうち、516検体からウイルスが検出され、検出率は58.2%であった。

表1 月別保健所別検体搬入数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
県北	38	14	17	14	23	19	12	19	19	19	22	33	249
県中			1	6	1								8
県南	3	4	1	1		2				2		1	14
会津	20	6	5	7		5	1	4	1	9	5	9	72
南会津	1	1	2										4
相双	27	19	25	36	23	19	21	13	9	13	20	23	248
福島市	11	6	5	2	3	4	2	1	4	5	3	2	48
郡山市	13	20	7	6	23	16	12	18	19	19	16	17	186
いわき市	3	5	8	5	7	4	3	6	3	4	8	2	58
総計	116	75	71	77	80	69	51	61	55	71	74	87	887

表2 検体種類別検出検体数

	咽頭※	糞便	髄液	結膜	尿	血液	その他	総計
受付検体数	487	326	30	28	3	4	9	887
検出検体数	307	174	2	28	1	1	3	516
検出率(%)	63.0	53.4	6.7	100.0	33.3	25.0	33.3	58.2

※咽頭：咽頭拭い液、だ液、鼻汁

3 ウイルス別検出状況

採取月別ウイルス検出状況を表3に示した。49種類、計555件のウイルスが検出された。また、複数ウイルスが検出された34検体について、表4に示した。

1) アデノウイルス

年間を通じて75件検出された。

最も多く検出されたのは3型で、6月と12月を除き年間を通じて26件検出された。次いで2型が16件、1型と41型が9件検出された。

2) エンテロウイルス

エンテロウイルス（以下、“EVとする。”）は101件検出された。

最も多く検出されたのはコクサッキーウイルスA群（以下、“CAとする。”）6型で45件、次いで16型が23件で、5型が13件であり、CAは他に2, 4, 10型と様々な型の検出があり合計87件と多かった。一方コクサッキーウイルスB群（以下、“CBとする。”）は5型が1件のみの検出であった。エコーウイルスは計14件検出され、11型が5件、18型が8件、25型が1件であった。

3) インフルエンザウイルス

2018/19シーズンの2018年12月～2019年8月までに、A/H3N2型が72件、A/H1pdm型が44件、B/ビクトリア系統が12件、B/山形系統が1件検出された。

2019/20シーズンの9～12月まででは、A/H1pdm型のみ50件検出された。

4) ノロウイルス等胃腸炎起因ウイルス

2018/19シーズンの2018年12月～2019年8月では、ノロウイルスが最も多く64件、次いでロタウイルスが51件、アストロウイルスが18件、サポウイルスが2件検出された。2019/20シーズンの9～12月では、アス

トロウイルスが1件検出された。

ノロウイルスについて、GⅡは4型が32件、3型が19件、2型が9件、6型が1件の計61件検出され、県内においては4型が主流であったと推定された。GⅠは2型が3件検出された。

ロタウイルスは、グループAのG2, G3, G8, G9が1～6月に計51件検出され、ノロウイルスに次いで多かった。サポウイルスは、GⅠ型が2018年12月～2019年1月に計2件検出された。

5) RSウイルス

RSウイルスはA型が3月、6～11月に計13件、B型が2018年12月～2019年2月、4～11月に計14件検出された。

6) パレコウイルス

1型が6, 9, 10月に計4件、3型が9, 11月に計7件、4型が2018年12月に1件検出された。3型の4症例7件は全て1歳未満からの検体であり、1型と4型は0～5歳児からの検体であった。

7) 複数検出ウイルス

咽頭拭い液の呼吸器系検体では、8検体から複数のウイルスが検出された。最も多く検出されたのは、RSウイルスで5検体、A型が3件、B型が2件であった。全てRSウイルス感染症診断からの検出であった。インフルエンザウイルスは1検体でA/H1pdm型とA/H3N2型が検出された。

糞便検体では26検体から複数のウイルス検出があり、ノロウイルスGⅡ.4型が11検体から検出された。そのうち4検体ではノロウイルスGⅡ.4型と併せて3種類のウイルスが検出された。アストロウイルス1型は14検体中8検体から検出され、ノロウイルスやロタウイルスなど様々なウイルスとの共感染であった。

4 診断名別検出状況

診断名別検出状況を表5に示した。

インフルエンザは225検体が搬入され、インフルエンザウイルスが177件検出された。

RSウイルス感染症は31検体が搬入され、30件のウイルスが検出された。そのうち5検体はRSウイルスと併せて2種類のウイル

スが検出された。

咽頭結膜熱は 10 検体が搬入され、アデノウイルス 1 型～3 型が検出された。全国的にアデノウイルス 1 型～3 型が多く検出されており、同様の傾向であった。

最も多い 227 検体の搬入のあった感染性胃腸炎検体からは、174 件のウイルスが検出された。検出ウイルスはノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルス、EV など様々であった。最も多く検出されたのは、ノロウイルス G II.4 型が 32 件、続いてロタウイルスグループ A.G3 が 20 件、ノロウイルス G II.3 型が 19 件、ロタウイルスグループ A.G9 が 16 件、アストロウイルス 1 型が 14 件であった。

手足口病は、本県での患者報告数が 2018 年に比べ約 7 倍と増加し、過去 10 年間で最も多かった。64 検体が搬入され、54 検体からウイルスが検出された。手足口病の主要な原因ウイルスである EV71 型と CA16 型の全国の分離検出情報では、2018 年は CA16 型と EV71 型で半数以上を占めていたが、2019 年は CA6 型が大幅に増え半数以上となり、次いで CA16 型が多く、EV71 型は大幅に減少していた。本県においては、EV71 型の検出はなく、CA6 型が最も多く 28 件、次いで CA16 型が 20 件検出されており、全国の流行状況と同様の傾向であった。

ヘルパンギーナは、本県での患者報告数が 2018 年に比べ約半数に減少した。22 検体が搬入され、15 件のウイルスが検出された。そのうち CA5 型が最も多く 8 件、CA6 型が 4 件検出された。全国的には CA6 型が最も多く検出され、次に CA5 型が続いており、これとはやや異なる傾向であった。

無菌性髄膜炎は 3 症例 3 検体が搬入されたが、ウイルスは検出されなかった。

流行性角結膜炎は、本県での患者報告数が 2018 年に比べ約 6 割に減少したが、年間を通じて流行があった。28 検体が搬入され、全ての検体からアデノウイルスが検出された。3 型が 15 件と最も多く、次いで 54 型が 7 件、37 型が 4 件、53 型、56 型が各 1 件ずつ検出された。全国的にはアデノウイルス 54 型が最も多く検出され、次に 3 型が続いており、これとは異なる傾向であった。

新生児・乳児発熱は 45 検体が搬入され、14 件のウイルスが検出された。パレコウイルス 3 型が最も多く、4 症例から 7 件検出された。

(無) 熱性けいれんは、対象外疾患の中で搬入検体数が 91 検体と最も多かった。21 件ウイルスが検出されたが、その種類は様々であった。

謝 辞

検体採取等本事業にご協力いただいた病原体定点医療機関の諸先生方に深謝いたします。

表3 採取月別ウイルス検出数

検出ウイルス	2018/ 12月	2019/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
Adenovirus 1	2		1		3		2					1		9
Adenovirus 2	1	2		2		3	5		1		1	1		16
Adenovirus 3	5	1	2	1	2	2		3	3	3	1	3		26
Adenovirus 5						1								1
Adenovirus 31									1					1
Adenovirus 37			1							3				4
Adenovirus 41							2	2	2	1	1	1		9
Adenovirus 53		1												1
Adenovirus 54						1			4	1	1			7
Adenovirus 56				1										1
Astrovirus 1	5	1		3		4	1							14
Astrovirus 4	1							2			1			4
Coxsackievirus A2	1													1
Coxsackievirus A4	1							1						2
Coxsackievirus A5								1	5	5	2			13
Coxsackievirus A6						1	6	26	10	2				45
Coxsackievirus A10	2													2
Coxsackievirus A16	1	1	4	2	2	4	1	2			1	5		23
Coxsackievirus B5												1		1
Echovirus 11	1											4		5
Echovirus 18		3								3	1	1		8
Echovirus 25										1				1
Human herpesvirus 1		1												1
Human herpesvirus 3								1						1
Human herpesvirus 4	1										1			2
Human herpesvirus 5										2	1			3
Human Metapneumovirus					1	1	1					1		4
Influenza virusA(H1pdm)	13	18	9	3			1			4	10	23	13	94
Influenza virusA(H3)	4	27	16	12	13									72
Influenza virusB(ビクトリア系統)		2			8	1	1							12
Influenza virusB(山形系統)			1											1
Norovirus G I .2					3									3
Norovirus G II .2	3			2	1		2	1						9
Norovirus G II .3				5	4	7	2		1					19
Norovirus G II .4	14	6	2	2	1	1	4	2						32
Norovirus G II .6						1								1
Parechovirus 1							2			1	1			4
Parechovirus 3										4		3		7
Parechovirus 4	1													1
Parvovirus B19		3												3
Reovirus							1							1
Rhinovirus sp.				2			1	1	1		3	3		11
Rotavirus group A.G2				1	3	5								9
Rotavirus group A.G3		2	1	11	4	2								20
Rotavirus group A.G8							4							4
Rotavirus group A.G9			3	3	4	8								18
RSvirus A				1			2	5	2	1	1	1		13
RSvirus B	1	1	1		1	1	1	1	2	3	1	1		14
Sapovirus G I	1	1												2
総計	58	70	41	51	50	43	39	48	32	34	28	48	13	555

表4 複数ウイルスが検出された検体

	検出ウイルス	診断名	採取月	年齢 (歳)	性別	検査材料
1	Influenza virusA(H1pdm) Influenza virusA(H3)	インフルエンザA型	3月	5歳	男	咽頭ぬぐい液
2	Rhinovirus sp. RSvirus A	RSウイルス感染症	6月	2歳	女	咽頭ぬぐい液
3	Human herpesvirus 3 Coxsackievirus A6	手足口病 中毒疹	7月	1歳	男	咽頭ぬぐい液
4	RSvirus A Coxsackievirus A6	RSウイルス感染症	7月	1歳	男	咽頭ぬぐい液
5	Adenovirus 3 RSvirus B	RSVの疑い	7月	1歳	女	咽頭ぬぐい液
6	RSvirus B Coxsackievirus A5	RSウイルス感染症	8月	1歳	女	咽頭ぬぐい液
7	Coxsackievirus A6 Rhinovirus sp.	手足口病	8月	1歳	女	咽頭ぬぐい液
8	Adenovirus 2 RSvirus A	RSウイルス アデノウイルス	11月	1歳	男	咽頭ぬぐい液
9	Norovirus G II.4 Astrovirus 1 Parechovirus 4	ノロウイルス感染性胃腸炎	2018/12月	5歳	男	糞便
10	Norovirus G II.4 Astrovirus 1	ノロウイルス感染性胃腸炎	2018/12月	4歳	女	糞便
11	Norovirus G II.4 Astrovirus 1	ノロウイルス	2018/12月	2歳	男	糞便
12	Echovirus 11 Norovirus G II.4 Astrovirus 1	急性胃腸炎, 有熱時けいれん	2018/12月	5歳	男	糞便
13	Norovirus G II.4 Sapovirus G I	ノロウイルス感染性胃腸炎	1月	1歳	男	糞便
14	Rotavirus group A.G3 Norovirus G II.4	ロタウイルス胃腸炎	1月	1歳	女	糞便
15	Astrovirus 1 Rotavirus group A.G9 Norovirus G II.2	胃腸炎	3月	6歳	男	糞便
16	Astrovirus 1 Norovirus G II.2	胃腸炎	3月	8歳	男	糞便
17	Rotavirus group A.G3 Norovirus G II.3	急性胃腸炎	3月	0歳	女	糞便
18	Rotavirus group A.G3 Norovirus G II.3	気管支炎 胃腸炎	3月	0歳	男	糞便
19	Norovirus G II.2 Rotavirus group A.G2	感染性胃腸炎	4月	2歳	女	糞便
20	Rotavirus group A.G2 Adenovirus 1	感染性胃腸炎	4月	4歳	女	糞便
21	Norovirus G II.4 Rotavirus group A.G9	急性胃腸炎	5月	0歳	男	糞便
22	Astrovirus 1 Norovirus G II.3	感染症胃腸炎	5月	0歳	女	糞便
23	Adenovirus 2 Norovirus G II.3	感染症胃腸炎	5月	1歳	男	糞便
24	Astrovirus 1 Rotavirus group A.G2	感染症胃腸炎	5月	2歳	男	糞便
25	Adenovirus 5 Rotavirus group A.G2	感染症胃腸炎	5月	3歳	男	糞便
26	Adenovirus 41 Norovirus G II.4	感染性胃腸炎	6月	1歳	女	糞便
27	Norovirus G II.2 Reovirus	感染性胃腸炎	6月	2歳	男	糞便
28	Rotavirus group A.G8 Norovirus G II.3	ロタウイルス腸炎	6月	1歳	女	糞便
29	Adenovirus 2 Rotavirus group A.G8	ロタウイルス腸炎	6月	2歳	女	糞便
30	Adenovirus 41 Parechovirus 1 Norovirus G II.4	胃腸炎 脱水症	6月	0歳	女	糞便
31	Norovirus G II.4 Coxsackievirus A6	感染性胃腸炎	6月	0歳	女	糞便
32	Adenovirus 41 Norovirus G II.4 Coxsackievirus A6	感染性胃腸炎	7月	1歳	女	糞便
33	Adenovirus 41 Coxsackievirus A5	意識障害	8月	1歳	男	糞便
34	Parechovirus 3 Coxsackievirus A16	発熱	11月	0歳	女	糞便

表5 診断名別ウイルス検出数

検出ウイルス	診 断 名										総計	
	インフル エンザ	RS ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	感染性 胃腸炎	手足口 病	ヘルパ ンギー ナ	無菌性 髄膜炎	流行性 角結膜 炎	新生児・ 乳児発 熱	(無)熱 性けい れん		その他
Adenovirus 1			2	4							3	9
Adenovirus 2		1	1	9							5	16
Adenovirus 3		1	1	2				15		2	5	26
Adenovirus 5				1								1
Adenovirus 31				1								1
Adenovirus 37								4				4
Adenovirus 41				8							1	9
Adenovirus 53								1				1
Adenovirus 54								7				7
Adenovirus 56								1				1
Astrovirus 1				14								14
Astrovirus 4				4								4
Coxsackievirus A2										1		1
Coxsackievirus A4				1		1						2
Coxsackievirus A5		1		2		8					2	13
Coxsackievirus A6		1		5	28	4		1	6			45
Coxsackievirus A10									2			2
Coxsackievirus A16					20			1			2	23
Coxsackievirus B5				1								1
Echovirus 11			1	1		1					2	5
Echovirus 18						1		3	3		1	8
Echovirus 25				1								1
Human herpesvirus 1											1	1
Human herpesvirus 3					1							1
Human herpesvirus 4											2	2
Human herpesvirus 5											3	3
Human Metapneumovirus									1	2	1	4
Influenza virusA(H1pdm)	92									2		94
Influenza virusA(H3)	72											72
Influenza virusB(ピクトリア系統)	12											12
Influenza virusB(山形系統)	1											1
Norovirus G I.2				3								3
Norovirus G II.2				9								9
Norovirus G II.3				19								19
Norovirus G II.4				32								32
Norovirus G II.6				1								1
Parechovirus 1				3							1	4
Parechovirus 3									7			7
Parechovirus 4				1								1
Parvovirus B19											3	3
Reovirus				1								1
Rhinovirus sp.		1		1	5					1	3	11
Rotavirus group A.G2				8							1	9
Rotavirus group A.G3				20								20
Rotavirus group A.G8				4								4
Rotavirus group A.G9				16					1	1		18
RSvirus A		12								1		13
RSvirus B		13									1	14
Sapovirus G I				2								2
総計	177	30	5	174	54	15	0	28	14	21	37	555
受付検体数	225	31	10	227	64	22	3	28	45	91	132	887

(2) 2019年感染症発生動向調査事業報告（細菌検出報告）

山田浩子 寺島祐司 賀澤優 菊地理慧 菅野奈美 金成篤子
微生物課

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症の治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では2019年の細菌検索結果について報告する。

材 料

2019年1月から12月までの間に、県内の5定点医療機関より搬入された81件を対象とした。なお、輸送培地による検体の搬入は62件、菌株による搬入は19件であった。

検体・菌株の受付月別内訳を表1に示す。咽頭拭い液52件、血液7件、糞便19件、創部1件、尿2件であった。

方 法

A 群溶血性レンサ球菌、細菌性髄膜炎起因菌、感染性胃腸炎起因菌等を、厚生省監修「微生物検査必携・第3版」、国立感染症研究所作成「病原体検出マニュアル」等に従い

検索した。

肺炎球菌、インフルエンザ菌については、薬剤耐性遺伝子の検出を既報¹⁾の方法により実施、判定した。

結果及び考察

1 保健所別症例数

保健所別の検体数では、県北35件(43.2%)、郡山市25件(30.9%)、会津15件(18.5%)、いわき市5件(6.2%)、県南1件(1.2%)で、県中、南会津、相双及び福島市からは、検体の搬入がなかった(表2)。

表2 保健所別検体数

保健所名	検体数
県北	35
県南	1
会津	15
郡山市	25
いわき市	5
計	81

表1 受付月別・検査材料別搬入検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
咽頭拭い液	11	4	1	5	10	4		3	2		8	4	52
血液	1 (1)	3 (3)	1 (1)				2 (2)						7 (7)
糞便	3 (2)	3 (3)	2 (2)	4 (2)	1	2		2		1	1		19 (9)
創部		1 (1)											1 (1)
尿		1 (1)								1 (1)			2 (2)
計	15 (3)	12 (8)	4 (3)	9 (2)	11	6	2 (2)	5	2	2 (1)	9	4	81 (19)

()内は菌株での搬入

表3 採取月別細菌検出状況 (2018年12月～2019年11月)

	2018年				2019年							計	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		11月
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-1	4	1		2	4	4		1			1	1	18
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-3					1							1	2
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-4	1								1		2	1	5
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-11	1											1	2
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-12	1			1	1								3
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-25				1									1
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-B3264					1	2			1				4
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T型別不能	1		1						1				3
<i>Escherichia coli</i> O1:H7	1												1
<i>Escherichia coli</i> O1:H28	2	1	1										4
<i>Escherichia coli</i> O6:H5		1											1
<i>Escherichia coli</i> O15:H7		1											1
<i>Escherichia coli</i> O18:HUT				1									1
<i>Escherichia coli</i> O25:HUT				1									1
<i>Escherichia coli</i> O86a:H-			1										1
<i>Escherichia coli</i> O86a:HUT							1						1
<i>Escherichia coli</i> O103:HUT										1			1
<i>Escherichia coli</i> O型別不能				3									3
<i>Salmonella</i> . III b:UT:l,v:1,5										1			1
<i>Salmonella enterica</i> var. Enteritidis										1			1
<i>Staphylococcus lugdunensis</i>		1											1
<i>Hafnia albei</i>		1											1
<i>Capnocytophaga sputigena</i>			1										1
gBLNAS * 1							1						1
gBLPAR * 1	1												1
gPISP * 2		2				1							3
gPRSP * 2	1												1
総計	13	8	4	9	7	7	2	1	3	2	4	4	62

* 1 BLNAS: βラクタマーゼ非産生アンピシリン感受性インフルエンザ菌

BLPAR: βラクタマーゼ産生アンピシリン耐性インフルエンザ菌

* 2 PISP: ペニシリン中等度耐性肺炎球菌, PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

遺伝子検査により薬剤感受性判定をした菌は genotype を表す「g」を付けて gPSSP のように表記する

2 検査材料別検出状況

菌株以外で搬入された検体のうち、咽頭拭い液検体では、52件中38件から38株の細菌が検出された。また、糞便検体10件中6件から7株の細菌が検出された。検出率は全体で79.0%であった。

3 細菌検出状況

表3に採取月別の細菌検出状況を示す。

1) 溶血性レンサ球菌 (以下, “溶レン菌” とする.)

A群溶レン菌は、38株すべてが咽頭拭い液から分離された。患者の年齢は2歳～14歳で、5歳以下が半数以上を占めた。A群溶レン菌の血清型は8種類が分離され、最も多く分離されたのは、T-1型が18株(47.4%)、

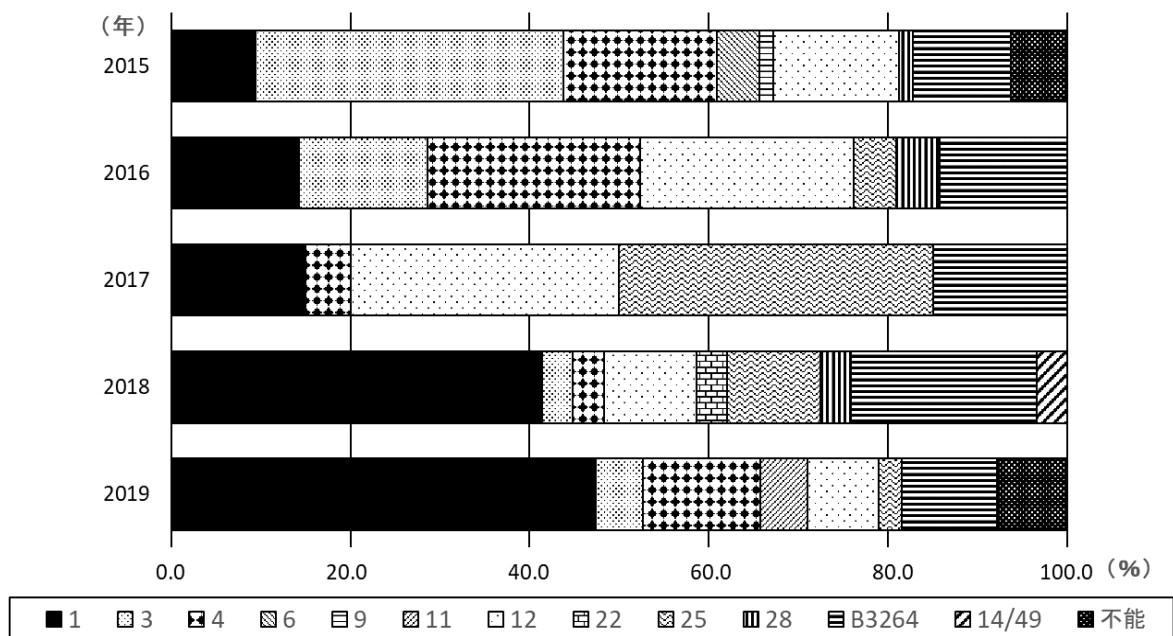


図1 A群溶レン菌のT型別年次推移

次いで T-4 型が 5 株 (13.2 %), T-B3264 型が 4 株 (10.5 %), T-12 型が 3 株 (7.9 %), T-3 型及び T-11 型が 2 株 (5.3 %), T-25 型が 1 株 (2.6 %) の順であった。また, T 型別不能が 3 株 (7.9 %) あった。

図 1 に本調査による 5 年間の A 群溶レン菌の T 型別年次推移を示した。^{2) - 5)}

昨年急増した T-1 型が今年も更に増加しており, T-1 型が流行の主流となっていることが示唆された。また 2017 年から減少していた T-4 型が増加に転じた。

2) 大腸菌

大腸菌は, 8 株が菌株で搬入され, 6 株が糞便から分離された。病原遺伝子の保有状況を表 4 に示す。

8 株が病原遺伝子を保有し, その内訳は菌株で搬入された 5 株が *bfpA* を, 糞便から分離した 3 株が *astA*, *invE*, *eae* を各 1 株ずつ保有していた。

3) サルモネラ属菌

サルモネラ属菌は, 尿由来の菌株が 1 株搬入され, 糞便から 1 株が分離された。血清型の内訳は, 菌株が *Salmonella*. III b:UT:l,v:1,5, 糞便が *Salmonella* Enteritidis であった。

表4 大腸菌保有病原遺伝子

血清型	菌株		糞便		
	<i>bfpA</i>	(-)	<i>astA</i>	<i>invE</i>	<i>eae</i> (-)
O1:H7	1				
O1:H28	3				1
O6:H5	1				
O15:H7	1				
O18:HUT	1				
O25:HUT	1				
O86a:H-	1				
O86a:HUT					1
O103:HUT					1
O型別不能			1	1	1
計	5	4	1	1	1
			1	1	3

4) インフルエンザ菌

インフルエンザ菌は, 2 株が菌株で搬入され, とともに血液由来であった。

インフルエンザ菌の血清型は 2 株とも型別不能であった。

薬剤耐性遺伝子の検査結果は, gBLNAS と gBLPAR が各 1 株であった。2 株ともペニシリン結合蛋白をコードする *fisI(pbp3-1,pbp3-2)* の遺伝子には変異が無く, β ラクタマーゼを産生する TEM 遺伝子は gBLPAR のみが保有

していた。

4) 肺炎球菌

肺炎球菌は4株が菌株で搬入され、すべて血液由来であった。

ペニシリン耐性遺伝子の検査結果は、ペニシリン結合蛋白の構造遺伝子 (*pbp1a*, *pbp2x*, *pbp2b*) の全てに変異が認められた gPRSP が1株、いずれかに変異が認められた gPISP が3株であった。gPISP は全ての株が *pbp2x* に変異が認められた。

マクロライド耐性遺伝子の検査結果は、軽度耐性遺伝子である *mefA* 保有が gPRSP で1株、gPISP では高度耐性遺伝子である *ermB* 保有が2株、どちらの耐性遺伝子も保有しない株が1株であった。

肺炎球菌莢膜型別用免疫血清（デンカ生研）による肺炎球菌の血清型分類を表5に示す。

表5 肺炎球菌の血清型

	3型	10型	35型	型別 不能	計
gPISP		1	1	1	3
gPRSP	1				1
計	1	1	1	1	4

3型、10型、35型及び型別不能が各1株ずつであった。

5) その他検出された菌

創部由来の菌株から *Staphylococcus lugdunensis* が、尿由来の菌株から *Hafnia alvei* が、血液由来の菌株から *Capnocytophaga sputigena* が各1株ずつ検出された。

謝 辞

検体採取等本事業に御協力いただいた病原体定点の医療機関の諸先生方に深謝いたします。

引用文献

- 1) 千葉菜穂子, 小林玲子, 長谷川恵子, 他. 肺炎球菌に対するカルバペネム系薬の抗菌作用の比較. 日本化学療法学会雑誌 2002 ; 5 : 161-169.

- 2) 二本松久子, 菊地理慧, 菅野奈美, 他. 2015年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報 2015 ; 33:77-82
- 3) 二本松久子, 菊地理慧, 菅野奈美, 他. 2016年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報 2016;34:53-57
- 4) 熊田裕子, 三瓶歩, 菅野奈美, 他. 2017年年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報 2017;35:65-68
- 5) 寺島祐司, 熊田裕子, 賀澤優, 他. 2018年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報 2018;36:

平成 3 1 年
福島県感染症発生動向調査事業報告書
令和 2 年 3 月 発行

発 行：福島県衛生研究所

福島県感染症情報センター

〒 9 6 0 - 8 5 6 0

福島県福島市方木田字水戸内 1 6 番 6 号

T E L 0 2 4 - 5 4 6 - 2 8 3 7

F A X 0 2 4 - 5 4 6 - 8 3 6 4

E-mail eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/>